

子ども教育学科

三浦 主博

岡 敬一郎

志賀 琢

鈴木 昌弘

ハットフィールド スティーヴン

宮崎 正美

山崎 宣次

遊佐 重樹

四家 昌博

千 凡晋

八木 孝憲

呂 光暁

坂場 寛子

松好 伸一

津田 綾子

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ ミウラ キミヒロ 氏 名 三浦 主博	職 名 教授 人間学部 子ども教育学科	取得学位 修士(教育学) (大学名) 東北大学大学院 (取得年月) 1995年 3月
----------------------------	------------------------	---

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
・子どもの育ちと多様性に向き合う障害児保育-ソーシャルインクルージョン時代における理論と実践-(みらい)	2024年 3月	保育士養成課程における「障害児保育」の教科書
・子どもとかかわる人のための心理学 —保育の心理学、子ども家庭支援心理学、子どもの理解と援助への扉—(萌文書林)	2020年 10月	保育士養成課程における「保育の心理学」「子ども家庭支援の心理学」「子どもの理解と援助」の教科書
・保育実践に求められる子育て支援(ミネルヴァ書房)	2019年 10月	保育士養成課程における「子育て支援」の教科書
・図解で学ぶ保育 子ども家庭福祉(萌文書林)	2019年 9月	保育士養成課程における「子ども家庭福祉」の教科書
・演習・保育と子育て支援(みらい)	2019年 8月	保育士養成課程における「子育て支援」の教科書

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
[著書] 子どもの育ちと多様性に向き合う障害児保育-ソーシャル インクルージョン時代における理論と実践-	共著	2024年3月	みらい		小原敏郎・橋本好市・ <u>三浦主博</u> 編著・ 他 18名	72-91
子どもとかかわる人のための心理学 —保育の心理学、 子ども家庭支援心理学、子どもの理解と援助への扉—	共著	2020年10月	萌文書林		沼山博・ <u>三浦主博</u> 編 著・他 11名共著	111-145, 162-165, 173-180
保育実践に求められる子育て支援	共著	2019年10月	ミネルヴァ書房		小原敏郎・ <u>三浦主博</u> 編 著・他 14名共著	18-28, 110-119
図解で学ぶ保育 子ども家庭福祉	共著	2019年9月	萌文書林	直島正樹・河 野清志編著・ 三浦主博 他 4 名共著		137-163
演習・保育と子育て支援	共著	2019年8月	みらい		小原敏郎・橋本好市・ <u>三浦主博</u> 編著・ 他 10名	29-40
子ども家庭支援の心理学	共著	2019年2月	建帛社	本郷一夫 神谷哲司 編 著・ <u>三浦主博</u> 他 10名 共著		126-135
[論文] こども家庭庁とこども基本法の概要と解説	単著	2023年4月	みらい			1-10
教職実践演習におけるグループアプローチの活用と 効果について(5)	共著	2023年3月	聖霊女子短期大学紀要第51号	織田栄子, 利 根川智子, <u>三 浦主博</u> , 上村 裕樹, 音山若		1-11

保護者との関係構築力の育成を目指すブレンディッドラーニング教材の開発	共著	2023年1月	共立女子大学家政学部紀要第69号	穂 小原敏郎・恒川丹・ <u>三浦主博</u>	99-108
オンラインでの対話による保育実習の振り返りに関する検討	共著	2022年3月	東北福祉大学教職研究2021年	利根川智子, 音山若穂, 織田栄子, 上村裕樹, <u>三浦主博</u>	153-168
「言葉遊び」を取り入れた授業の工夫—「保育内容(言葉)」の授業実践より—	共著	2021年3月	東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部教職課程センター報5号	<u>三浦主博</u> , 佐藤深雪	79-82
対話的アプローチによる実習の振り返りの授業実践とその課題	共著	2020年3月	東北福祉大学教職研究2019年	利根川智子, 音山若穂, <u>三浦主博</u> , 和田明人, 上村裕樹, 織田栄子	143-162
教職実践演習におけるグループアプローチの活用と効果について(4)	共著	2020年3月	聖霊女子短期大学紀要48号	織田栄子, 利根川智子, 音山若穂, <u>三浦主博</u> , 上村裕樹	1-10
保育者養成におけるキャリア発達を促すための教育プログラム開発の試み(3)	共著	2020年2月	東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部紀要50号	<u>三浦主博</u> , 音山若穂, 利根川智子, 上村裕樹, 織田栄子	155-160
保育(施設)実習の事前事後指導の実際と課題—全国保育士養成協議会東北ブロック内における調	共著	2019年8月	福祉科学研究 第8号	時本英知, 瀬	69-82

査よりー				尾知子, <u>三浦主博</u> , 利根川智子, 竹之下典祥, 福田真一, 細川梢, 日野さくら, 石森真由子, 大迫章史	
対話的アプローチが実習事後指導における協同性に及ぼす影響についての一検討	共著	2019年3月	東北福祉大学研究紀要第43巻	利根川智子, 音山若穂, <u>三浦主博</u> , 和田明人, 上村裕樹, 織田栄子	35-50
保育(施設)実習指導の一環としてのボランティア活動の実際ー全国保育士養成協議会東北ブロック内における調査より(2)ー	共著	2019年3月	青森中央短期大学研究紀要第32号	時本英知, 日野さくら, <u>三浦主博</u> , 竹之下典祥, 瀬尾知子, 大迫章史, 福田真一, 細川梢, 石森真由子, 利根川智子	179-187
保育者養成におけるキャリア発達を促すための教育プログラム開発の試み(2)	共著	2019年2月	東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部紀要 第49号	<u>三浦主博</u> , 音山若穂, 利根川智子, 上村裕樹, 織田栄子	119-123

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数

学術研究発表						
発表テーマ		発表年月(西暦)		発表場所		
保育者養成におけるブレンディドラーニングを用いた保護者との関係構築力の育成を目指した授業実践について(3)		2024年3月		日本保育者養成教育学会 第8回研究大会		
台湾における幼稚園と保育者養成校の視察報告		2024年3月		日本保育者養成教育学会 第8回研究大会		
保育者養成におけるブレンディドラーニングを用いた保護者との関係構築力の育成を目指した授業実践について(2)		2023年5月		日本保育学会 第76回大会		
保育者養成課程におけるケース・カンファレンスの進め方の検討		2023年3月		日本保育者養成教育学会 第7回研究大会		
保護者との関係構築力の育成を目指す ICT を活用した教材開発について(2)		2023年3月		日本保育者養成教育学会 第7回研究大会		
保育者養成におけるブレンディドラーニングを用いた保護者との関係構築力の育成を目指した授業実践について		2022年5月		日本保育学会 第75回大会		
保護者との関係構築力の育成を目指す ICT を活用した教材研究について		2022年3月		日本保育者養成教育学会 第6回研究大会		
教育実習における養成校の実態と意識 I～教育実習についての実態調査～		2021年3月		日本保育者養成教育学会 第5回研究大会		
教育実習における養成校の実態と意識 II～教育実習と保育実習の比較～		2021年3月		日本保育者養成教育学会 第5回研究大会		
保育者養成におけるキャリア発達を促すための教育プログラムの開発(4)		2020年3月		日本保育者養成教育学会 第4回研究大会		
社会的スキルのトレーニングが保育者養成学生の省察へと及ぼす影響		2019年5月		日本保育学会第72回大会		
実習事後指導のペア・インタビューと保育者に関する職業意識について		2019年5月		日本保育学会第72回大会		

保育者養成におけるキャリア発達を促すための教育プログラムの開発(3)	2019年3月	日本保育者養成教育学会 第3回研究大会
保育者養成におけるキャリアイメージの段階的構築に向けた教育プログラムの検討(2)	2019年3月	日本保育者養成教育学会 第3回研究大会
実習指導におけるピアインタビューを活用した省察力育成の試み	2019年3月	日本保育者養成教育学会 第3回研究大会

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本特殊教育学会		1993年4月
日本保育学会		2001年4月
日本発達心理学会		2005年4月
日本教育心理学会		2005年4月
日本保育者養成教育学会	理事／編集委員	2016年9月

III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度(西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額(円)
全国保育士養成協議会、及び全保養協東北ブロック科学研究費助成事業	2023年	ブロック共同研究・研究費助成基盤研究C	保育者の資質・専門性の向上に資する「保育実習内容チェックリスト」の開発(研究協力委員)	80万
	2022年～2024年		対話型組織開発による保育研修支援とミドルリーダー育成プログラムの構築(研究分担者)	140万
全国保育士養成協議会、及び全保養協東北ブロック科学研究費助成事業	2022年	ブロック共同研究・研究費助成基盤研究C	保育者養成の変化と課題(2)(研究協力委員)	80万
	2021年～2023年		保育者養成におけるブレンディドラーニングを用いた保護者との関係構築力の育成(研究分担者)	100万

全国保育士養成協議会、及び全保養協東北ブロック	2021年	ブロック共同研究・研究費助成	保育者養成の変化と課題(研究協力委員)	80万
全国保育士養成協議会東北ブロック	2020年	ブロック特別研究プロジェクト	保育実習代替授業プログラムの検討・教材開発(共同研究者)	112万
全国保育士養成協議会、及び全保養協東北ブロック	2019年	ブロック共同研究・研究費助成	養成校と実習施設との連携に向けた実習内容に関する調査研究(2)～実習施設の実態と意識～(研究協力委員)	80万

3. 特記事項

[非常勤講師]

- ・東北福祉大学 教育学部 「子どもと言葉／保育内容(言葉)の理論と方法」(2016年4月～現在)
- ・宮城学院女子大学 教育学部 「幼児理解の理論と方法」(2018年4月～現在)
- ・東北生活文化大学短期大学部 生活文化学科 「発達心理学」(2020年4月～現在)

[社会的活動(委員等)]

- ・宮城県保育者養成校連絡協議会・会長(2017年12月～現在)
- ・宮城県社会福祉審議会・委員(2024年4月～現在)
- ・仙台市社会福祉協議会泉区社会福祉協議会・委員(2018年4月～現在)
- ・仙台市保育専門技術向上支援事業スーパーバイザー(2019年4月～現在)
- ・富谷市公立保育所療育支援巡回相談員(2024年6月～現在)
- ・全国保育士養成協議会 専門委員(2009年5月～2012年5月)
- ・全国保育士養成協議会 保育士試験作問委員(2018年1月～現在)
- ・全国保育士養成協議会 保育士養成専門委員(2022年4月～現在)
- ・全国保育士養成協議会 保育実習指導者講習実施小委員会・委員(2024年4月～現在)
- ・全国保育士養成協議会東北ブロック研究委員会 委員長(2010年4月～2012年4月、2016年4月～2018年4月)
- ・全国保育士養成協議会東北ブロック 企画委員会 委員(2016年11月～現在)
- ・全国保育士養成協議会東北ブロック 研究委員会 協力研究委員(2018年4月～現在)

[研修会・講演会 講師等]

令和5年度 神戸大学 乳幼児教育学セミナー 講師	2024年3月24日	保育者養成校と保育現場におけるICTの活用の現状と課題
令和5年度 宮城県中央ブロック連絡協議会「主任保育士研修会」講師	2024年2月16日	保育所におけるマネジメント

令和5年度 宮城県現任保育士研修 所長研修 講師	2024年1月25日／2月9日	保育所におけるマネジメント
日本医療保育学科 第20回全国研修会 講師	2023年11月4日～30日(オンデマンド)	こども家庭庁及びこども基本法とは？
令和5年度 福島県保育士等キャリアアップ研修 講師	2023年10月20日	障害児保育
令和5年度 宮城県保育施設保育士基礎研修 講師	2023年9月7日	発達気になる子どもの理解と援助
令和4年度 第2回宮城県幼児教育アドバイザー連絡会議・研修会	2023年2月3日	特別な配慮を必要とする幼児への支援
令和4年度 福島県保育士等キャリアアップ研修(郡山会場) 講師	2022年11月12日	障害児保育
令和4年度 宮城県社会福祉施設職員 保育所主任保育士研修	2022年8月23日	保育実習から見る人材育成
令和4年度 合同業務研修(仙台市沖野保育所・木ノ下保育所)	2022年6月25日／10月29日	子どもが主体的に過ごす保育を学ぶ
いずみ松陵幼稚園・保護者向け講演会	2022年5月28日	「遊ぶことは学ぶこと」～幼児期の遊びを通して生きる力を育む～
岩手県社会福祉協議会・保育協議会 令和3年度保育所長・保育者部会	2022年2月18日	子どもの主体的な育ちを実現する環境づくりに向けて ～保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の観点から～
令和3年度 宮城県 子育てサポーターリーダー養成講座	2021年11月18日	障害のある子どもの理解と対応
令和3年度 山形県保育士等キャリアアップ研修(置賜会場) 講師	2021年10月29日	障害児保育
令和3年度 宮城県社会福祉施設職員 保育所(園)長研修	2021年8月27日	保育実習から見る人材育成
令和3年度 幼稚園教諭免許状更新講習 講師	2021年8月1日	子どもの障がいの理解と援助
令和3年度 仙台市 主任職員研修会	2021年6月2日	保育現場における効果的な研修方法 ―「自己評価ガイドライン」に基づいて―
令和2年度 山形県保育士等キャリアアップ研修(村山会場) 講師	2020年10月12日～13日	障害児保育
令和2年度 仙台白百合女子大学出張出前講座(福島南高校)講師	2020年10月8日	保育者を目指す人へ

令和2年度 山形県保育士等キャリアアップ研修(庄内会場) 講師	2020年10月5日～6日	障害児保育
夢ナビライブ2020 仙台会場 講義ライブ 講師	2020年10月3日	保育は大変？ 保育の課題と魅力を考える
令和2年度 宮城県保育士等キャリアアップ研修(大崎会場) 講師	2020年9月4日,11日,17日	障害児保育
令和2年度 宮城県保育士等キャリアアップ研修(仙台会場) 講師	2020年9月2日,9日,14日	障害児保育
令和2年度 宮城県児童館・放課後児童クラブ連絡協議会 児童館職員等研修会	2020年9月3日,8日,24日	子どもの発達の理解と援助
令和2年度 幼稚園教諭免許状更新講習 講師	2020年8月22日	子どもの障がいの理解と援助
令和2年度 東北生活文化大学教員免許状更新講習	2020年8月10日	子どもの理解と援助 ～インクルーシブ教育・保育～
令和2年度 宮城県私立幼稚園連合会 webを活用した園内園研修の進め方研修会	2020年8月6日	保育記録「記録の作成から活用まで」
2020 みやぎ保育カフェ 講師・ファシリテーター	2020年7月26日	子どもに笑顔を届けるために／ワールドカフェで語ろう～改めて考える保育の魅力～
令和元年度 角田市 家庭的保育研修 講師	2020年2月19日	子どもの心身の発達と保育
令和元年度 富谷市富谷保育所 保護者向け講演会 講師	2020年1月25日	子どもが健やかに育つ条件、今親がすべきことは ～非認知スキル形成のために～
東北生活文化大学短期大学部 出前授業(東北生活文化大学高校) 講師	2020年1月17日	保育者を目指す人へ(ワークショップ)
令和元年度 全国認定こども園協会 宮城県支部 保育士等キャリアアップ研修 講師	2019年12月27日	障害児保育
令和元年度山形県 幼稚園新規採用教員研修 講師	2019年12月3日	子どもの発達理解
令和元年度 山形県保育士等キャリアアップ研修(置賜会場) 講師	2019年11月27日～28日	障害児保育
東北生活文化大学短期大学部 出前授業(東北生活文化大学高校) 講師	2019年11月8日	これから求められる資質・能力

令和元年度 宮城県保育士等キャリアアップ研修(大崎会場) 講師	2019年9月18日,25日,10月2日	障害児保育
令和元年度 山形県保育士等キャリアアップ研修(村山会場) 講師	2019年9月9日～10日	障害児保育
せんだい保育マルシェ シンポジウム 指定討論者	2019年9月1日	主任が作るよい職場～3園の事例から～
令和元年度 宮城県保育士等キャリアアップ研修(仙台会場) 講師	2019年8月28日,9月2日,12日	障害児保育
令和元年度 幼稚園教諭免許状更新講習 講師	2019年8月17日	子どもの障がいの理解と援助
令和元年度 仙台市社会福祉協議会泉区事務所 いずみボラカフェ 講師(ファシリテーター)	2019年7月30日	地域とボランティア～学生ボランティア等の力と地域の活動をつなぐ ためには～(ワークショップ)
令和元年度 宮城県私立幼稚園連合会 特別支援研修会	2019年7月26日	障害に対する理解
令和元年度 釜石市 幼児教育施設合同研修会(保育士等キャリアアップ研修)	2019年6月29日	障害児保育の計画、記録、評価
令和元年度 仙台市 主任職員研修会	2019年6月21日	これからの保育について―「10の姿」を意識した保育の実践―
令和元年度 富谷市保育士研修会 講師	2019年6月6日	新保育所保育指針研修会～三歳以上児～
令和元年度 富谷市保育士研修会 講師	2019年5月23日	新保育所保育指針研修会～三歳未満児～
令和元年度子育てサポーター養成講座(東部教育事務所) 講師	2019年5月22日	子どもの理解とかかわり方～子どもの発達の理解を通して～
東北生活文化大学短期大学部 出前授業(東北生活文化大学高校) 講師	2019年5月17日	保育者を目指す人へ

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ 氏名	オカ ケイイチロウ 岡 敬一郎	職名 教授 人間学部子ども教育学科	取得学位 修士(教育学) (大学名) 東北大学 (取得年月) 1999年3月
------------	--------------------	----------------------	---

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概要
1 教育方法の実践例		
・多様な資料の活用	2019年度～	初めて教育学を学ぶ学生に対しては、教育学に関心を持たせるとともに、講義の内容を現代的課題と結びつけていくことが必要と考える。そこで、新聞・雑誌記事や録画したテレビ番組などを活用して、学生が教育に関するさまざまな話題に触れられるように配慮してきた。
・グループ学習の導入	2019年度～	如何に優れた講義内容であっても、一方的に解説したのでは学生の意欲を喚起することはできないと考える。そこで、受講者を数名ごとのグループに分け、各グループに調査課題を与えると同時に、調査結果を発表させることによって、学生は積極的に講義に取り組むことができるようになった。
・学生が自ら考える講義の実施	2019年度～	多数の受講者がいる講義において、学生個人の意見を反映させることは容易ではない。そこで、講義中にテーマを与えてグループで討論させることによって、自己の意見を述べ合い、また他人の意見からも学ぶことができた。さらに、講義の最後に小レポートを課して、講義内容を振り返ることによって、学生が自らの思考を深めることができるようになった。
・ゼミにおける学校訪問	2019年度～	ゼミに所属する学生が見聞を広め、将来の教師としての活動に活かしてもらうことを目的として、特色ある学校を訪問している。訪問校については、学生の希望に基づいて、教科教室型の中学校、外国につながる児童が半数以上在籍する小学校などを選定し、連絡・調整を実施してきた。学習の成果をまとめ、大学祭の企画の一つとして発表させることにより、学生は理解を深め、自らの進路に対する思いを新たにしている。

・授業支援システムの活用	2020 年度～	コロナ禍では講義中のコミュニケーションに制限がかかってしまうため、授業支援システムを活用して、学生間の意見共有や学生の理解度の把握を図っている。
2 作成した教科書・教材		

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
学校現場実習が教師志望学生の教師効力感に及ぼす影響－学生支援のための予備的検討－	共	2024.3	秀明大学紀要第 21 号	関塚麻由 荒井明子		15-26
教育実習の一部としての学校現場実習の活用の検証－中央教育審議会における議論の分析から－	共	2024.3	仙台白百合女子大学紀要第 28 号	荒井明子 関塚麻由		27-39
「教育の方法及び技術」に関する資料整理－コアカリ・育成指標・シラバスの関係に着目して－	単	2024.2	仙台白百合女子大学教職課程研究センター報第 3 号			39-42
・資料紹介 射水市新湊博物館所蔵片口屋文書より南原繁書簡・葉書	単	2023.3	仙台白百合女子大学紀要第 27 号			27-36
・学校現場実習における学生支援の現状と課題－学生の運営参加に着目して－	共	2022.3	仙台白百合女子大学紀要第 26 号	荒井明子 関塚麻由		57-67
・教職実践演習の実践－保護者・地域住民対応に着目して－	単	2022.2	仙台白百合女子大学教職課程研究センター報第 1 号			35-37
・教育実習の事前事後指導の実践－異学年交流に着目して－	単	2022.2	仙台白百合女子大学教職課程研究センター報第 1 号			31-33

・学校現場実習における学生の期待・不安状況の分類化－実習に対する学生の意識調査から－	共	2021.3	秀明大学紀要第 18 号	関塚麻由 荒井明子		65-76
・射水郡長期の南原繁における教職観－「何たるべきか」の分析を通じて－	単	2021.3	仙台白百合女子大学紀要第 25 号			23-31
・書評 高橋寛人著『教育公務員特例法制定過程の研究－占領下における教員身分保障制度改革構想』	単	2020.10	教育制度学研究第 27 号、日本教育制度学会			274-279
・南原繁の射水郡立農業公民学校設立構想の研究－戦後地方教育行政改革構想の思想的背景の視点から	単	2016.3	秀明大学紀要第 13 号			1-17
・会員制による生涯学習施策の展開－北海道滝川市を事例として－	単	2010.9	『生涯学習－多様化する自治体施策－』東洋館出版社	大桃敏行・背戸博史 編、14 名		198-212
・戦後改革期の田中耕太郎の教育権論における両親－教師－国家の関係の再検討	単	2006.2	東北教育学会研究紀要第 9 号			29-42
・田中耕太郎の「教育権の独立」論の再検討－中央・地方教育行政と教師との関係に着目して－	単	2001.11	日本教育行政学会年報第 27 号			83-94

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数
学術研究発表						
発表テーマ			発表年月(西暦)	発表場所		

・地域活動の拠点づくりの取組－千葉県習志野市事例－	2023.11	日本教育制度学会第 30 回大会
・学校現場実習に対する学生の意識の変化(1)－実習前、実習中、実習後の性別による意識の検討－	2022.8	日本教育心理学会第 64 回総会
・学校現場実習に対する学生の意識の変化(2)－不安の高低と自己肯定意識との関連からの検討－	2022.8	日本教育心理学会第 64 回総会
・学校現場実習に対する学生の意識の変化－1 年間の追跡調査のデータを用いて－(関塚麻由、荒井明子、岡敬一郎)	2019.9	日本教師教育学会第 29 回研究大会(岡山大学)
・学校現場実習の効果的実施に向けた学生支援(荒井明子、氏家靖浩、岡敬一郎、関塚麻由、大泉徹)	2019.8	日本学校教育相談学会第 31 回研究大会(東北福祉大学)

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本教育学会		2003.3
日本教育行政学会		1999.4
日本教育制度学会		2000.7
教育史学会		1999.4
日本教師教育学会		2018.9
東北教育学会	紀要編集委員(2019.4～)	1999.4

III 研究費の助成を受けた研究(過去 5 年間)

助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)
・科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金)	2020-2023 年度	基盤研究(C)・ 研究代表者	戦後改革期における教育の専門的自律性論議に関する実証的研究	1,300,000

3. 特記事項

- ・福島県立福島南高等学校 模擬授業「学校の役割を考える」(2020.10)
- ・全国私立大学教職課程協会 緊急オンライン・シンポジウム報告「東北地区における教育実習・介護等体験の現状と課題」(2020.6)
- ・全国私立大学教職課程協会 理事(2019.5-2020.12)
- ・宮城県教職員育成協議会養成部会 構成員(2019.4-)
- ・仙台市教員育成協議会 会員(2019.4-)
- ・仙台白百合女子大学教職課程研究センター センター長(2019.4-)
- ・千葉・茨城地域私立大学教職課程研究連絡協議 2018 年度第 2 回研究会報告「秀明大学学校教師学部における教職インターンシップの現状と課題－教育実践演習 I・II を中心に－」(2019.2)
- ・印西市教育振興基本計画学校教育編検討委員会 委員長(2016.4-2018.3)
- ・印西市教育振興基本計画策定委員会 委員(2016.4-2018.3)
- ・第 1 回八千代教育サミット 基調提案「学生ボランティアの現状と課題」(2014.8)
- ・茨城県立境高等学校 出前授業「教育基礎論－教師になるために必要なこと」(2012.10)

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ シガミガク 氏名 志賀 琢	職名 特任教授 人間学部 子ども教育学科	取得学位 工学士 (大学名) 東北学院大学 (取得年月) 1982年 3月
-----------------------	-------------------------	--

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概要
〇いじめ・不登校に対する適切な支援のあり方	2019年4月～	・現在、仙台市内の喫緊の課題となっている、いじめと不登校に対して、実際に学校現場で扱っている困難ケースを中心にどのように支援すればよいか、を関係機関との連携を含め、様々な視点から適切な支援のあり方を探ってきた。

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
・大学における生徒指導実践力を育成するための一試み —いじめ対応力の向上を目指して—	単著	2022年2月	仙台白百合女子大学 教職課程研究センター報・第1号			pp.13-18
・算数教育における指導力を育成する大学授業のあり方 —模擬授業に焦点を当てて—	単著	2022年2月	仙台白百合女子大学 教職課程研究センター報・第1号			pp.49-54

翻訳

翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)

III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)

3. 特記事項

<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市いじめ防止等対策検証会議委員(2019年度) ・仙台市発達障害児教育専門家チーム委員(2020年度～)
--

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ スズキ マサヒロ 氏 名 鈴木 昌弘	職 名 人間学部 子ども教育科	取 得 学 位 教育学士 (大学名) 大阪教育大学 (取得年月) 1985年3月
----------------------------	--------------------	---

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
テキスト分析による論理的な物語の読解の教授学習方略	2016年4月～	物語における場面ごとの主人公の言動と気持ちの確認やクライマックスの前後から主人公の変容から主題を求める教授学習は、真の主題を見逃し児童生徒の学習意欲を損なっている。それを克服するために、一見無関係であり矛盾する表現に着目し止揚(総合)する方略を実践研究し、それを小中学校の教員に指導し、今年度から学生に指導している。

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
[著書] ・メロスは何故少女に赤面するのか～「テキスト分析」でつくる文学の授業	単著	2020. 4	三省堂			全 157 頁
[論文] ・「対話的な学習」と何か。あるいは国語教師の存在理由について	単著	2018. 3	大阪教育大学国語教育学会 『国語と教育』2018年 第43号			72-91 頁 (20 頁)

翻訳

翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所
・「人間の本性に根ざした所属感・貢献感を賦活する生徒集団づくり～「荒れ」の克服から「不登校」「低学力」の改善へ～」第42回学校づくり研究会 ・「対話『的』な学習を支えるもの～「少年の日の思い出」テキスト分析を通して～」第53回 大阪教育大学国語教育学会	2020年3月21日	大阪大学中之島センター
	2017年8月5日	大阪教育大学柏原キャンパス

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本国語教育学会	会員	2021年8月
日本教授学習心理学会	会員	2022年3月

III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度(西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額(円)

3. 特記事項

--

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ 氏名	ハットフィールド スティーヴン HATFIELD STEVEN	職名 人間学部	学科 子ども教育学科	取得学位 (大学名) 東北大学	文学修士 (取得年月) 2008 年 3月
------------	------------------------------------	------------	---------------	--------------------	--------------------------

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概要
<p>My teaching method has been to get students more enthusiastically interested in English to improve their English ability. I've also been trying to adjust my lessons to the needs of each student during this virus period.</p> <p>I've offered extended office hours throughout the week. I also offer office hours on Saturdays and Zoom lessons during spring and summer vacation periods.</p> <p>I am helping Global Studies and Human Development students with the EIKEN test.</p> <p>I want to give artistic students a chance to use their abilities and accomplish something extraordinary. I've published seven children's storybooks with illustrations by in the Children's Education, Social Work, and Global Studies. I'm working on more books with students now. They can showcase their artistic abilities and it's also good English practice to create books together.</p>		

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
The Junior Chocolate Children Volume 2	単	2024.5	Amazon. KDP			頁計 35 頁
The Junior Chocolate Children Volume 1	単	2023.10	Amazon. KDP			頁計 63 頁
Otis Meal's Extraordinary Adventure: 2nd Edition	単	2023. 7	Amazon. KDP			頁計 163 頁
The Wagamama Pasta Restaurant 4th Edition	単	2023.7	Amazon. KDP			頁計 46 頁
The Wendy and Wanda Chronicles: 2nd Edition	単	2023.3	Amazon KDP			頁計 32 頁
Eugene's March and 2 More Kids Stories	単	2022.11	Amazon KDP			頁計 31 頁
The Wagamama Pasta Restaurant 3rd Ed.	単	2022.4	Amazon KDP			頁計 38 頁
The Wendy and Wanda Chronicles: I Funnian	単	2022.1	Amazon. KDP			頁計 121 頁
Thunder and Rain Are Friends & The Boo-Boo Bulldozer	単	2021.7	Amazon KDP			頁計 38 頁
The Wendy and Wanda Chronicles	単	2021.6	Amazon KDP			頁計 24 頁
The Wagamama Pasta Restaurant	単	2021.5	Amazon KDP			頁計 195 頁

Otis Meal's Extraordinary Adventure	単	2021.5	Amazon KDP			頁計 148 頁
The Wagamama Restaurant & 2 More Magical Tales Textbook Version 2nd Edition	共	2021.5	Amazon KDP			99 頁-117 頁
The Wagamama Restaurant & 2 More Tales of MAGIC: Textbook Version		2021.5	Amazon KDP			147 頁-149 頁
Japanese University Students' Perspective on K-12 Bullying in Japan	共	2020. 8	仙台白百合女子大学紀要 第 25			121 頁-142 頁
Repairing American Policies and Attitudes Regarding Mexican Immigration	単	2020.3	仙台白百合女子大学カトリック 研究所論集 第 24 号			頁計 118 頁
Keeping the Black and Yellow Out of the Canadian Multicultural Mosaic		2020.3	仙台白百合女子大学紀要 第 24			
Funnian and Other Stories		2019.3	Amazon. KDP			
		2019. 5				

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数
学術研究発表						

発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)

III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)

3. 特記事項

1984年～1985年 USA長老教会の伝導事業計画に参加

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ ミヤ ザキ マサミ 氏 名 宮 崎 正 美	職 名 教授 人間学部 子ども教育学科	取 得 学 位 Sacrae Theologiae Licentiatius ・神学修士 (大学名) FACULTAS ECCLESIASTICA THEOLOGIAE TOKYOENSIS (UNIVERSITAS CATHOLICA SOPHIA) ・上智大学 (取得年月) 1992年2月・1992年3月
-------------------------------	------------------------	--

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
1. 講義「人間論」 (旧カリキュラム「人間論Ⅰ」「人間論Ⅱ」)	2019.4～現在 (2011.4～ 2019.3)	<p>学部共通科目必修科目。全学科3年次開講科目。</p> <p>下記「人間論Ⅰ」「人間論Ⅱ」の授業内容を、1/2の時間数で実施するという難題を負い、従来と同様の方法を用いながら、受講生の授業内容の理解しやすさを考慮して実施している。</p> <p>科目内容は(キリスト教的)人間学として、人間に関する総合的理解(したがって多分野にわたる諸科学の協働)の必要性を理解する。また、「人間とは何か」という問いを通して、現実の中の神秘に目を向けつつ真理を探究することを学ぶ。最初に、大学における自由七科の意義に目を向けさせる。さらに、人間のいのちについて、「子どものいのち」という切り口から、①現代・日本、②古代・聖書の文化、③近代・日本の文化と条件を変えて学生に考えさせる。死に向かって生きている人間の現実を考察させた。②については、聖書のことばを、聖書学の方法論を簡便に用いることによって解説し、歴史的文化的背景を理解しながらそのコンテキストを学ばせる。③については、室生犀星の作品「童子」「後の日の童子」を映像化した是枝裕和監督『後の日』を観てもらい、考えさせた。</p> <p>また、犯罪被害という特殊に思われる問題を取り上げることによって、望ましくない人間関係に置かれてしまう状況の理解、「償い」「ゆるし」の問題の理解を進めた。考えるきっかけとして、公共放送をはじめ一般の番組で放映された番組のビデオ録画を活用した。その他 VHS、DVD の映像資料や、PowerPoint を活用した。</p> <p>人間一般のおかれた環境のなかでキリスト教の世界観・価値観がもつ意味を説明するように工夫している。人間の死と生、家族をめぐる複合的な問題を意識させ、「人間が生きている」ことの意味を、自分自身で問い続けることができるように授業計画をたて、実施した。</p>
2. 講義「宗教と美術」	2006.4～現在	学部共通科目選択科目。全学科3年次開講科目。

<p>3. 「子ども発達総合演習Ⅰ」 「子ども発達総合演習Ⅱ」</p> <p>「子ども発達総合演習Ⅲ」 「子ども発達総合演習Ⅳ」</p> <p>4. 自主ゼミ（学生の自主的研究支援）聖書研究会、ラテン語, ロシア語</p> <p>5. キリスト教学テキスト『キリスト教学概論—過越の生を生きる』（現代神学研究会）第4版</p> <p>6. 東北大学ラテン語Ⅰ・Ⅱテキスト『ラテン語文法の基礎ノート』（私家版）第2版</p>	<p>2023.4～現在.</p> <p>2021.4～2023.3</p> <p>2019.4-2021.3</p> <p>2019.4-7</p> <p>2022.4～現在.</p> <p>2006</p> <p>2007</p>	<p>キリスト教を中心とした宗教と、美術との関わりについて、美術作品の鑑賞に終始することなく、むしろ自分に所与として与えられた感性・想像力などをくししつつ「自分で考える」ようにした。そのために、PowerPoint を毎回、活用した。また NHK の優れた番組の中から、考えるための資料を提供した。また同時にイコロジー（図像学）の初歩的な内容を入れて、東方キリスト教のアイコンについて学ぶことを通して、キリスト教における図像の役割の大きさを理解させた。さらに、図像をとおしての資格的認識が、人間において成立するという点について、人間の認識の構造を、生理学的・解釈学的・哲学的に学ばせた。</p> <p>公共放送をはじめ一般の番組で放映された番組のビデオ録画を活用した。</p> <p>「子ども発達総合演習Ⅰ」については、2023 年度は宮口幸治『ケーキの切れない非行少年たち』（新潮社 2019 年）を講読し、発達障害グレーゾーンの子どものたちと現代日本社会の問題について考察している。</p> <p>2021 年度は、「キリスト教と障がい」をテーマに基本的な文献調査をした。2022 年度は、「キリスト教と障害」について、論文作成の指導、および他の1名は、「クラシック・バレエにおける宗教の考察——歴史をふまえて」というテーマで、文献研究に続き論文指導をしている。</p> <p>2019 年度は、学生のカテキズムと解説に重点をおいて進め、学生の希望に応じてカトリック大学神学部入学試験問題を教材とした [週1コマ]。</p> <p>2019 年度は、ラテン語に興味ある学生の理解度に合わせて、英語の単語や文法とのつながりを中心とし、基礎文法を学ばせた。またロシア語は、アルファベットのキリル文字の習得から始めて、学生の理解力に合わせて文法だけでなく、日常会話の習得も心がけて行った[週1コマ]。</p> <p>2022-2023 年度はロシア語に関心ある学生と文法習得をめざしている。2022 年度は聖書研究会をもった。 [週1コマ]。2022 年アドヴェント期間に、自主ゼミの学生および関心ある学生たちによって、ウクライナ支援 (UNICEF) の募金を集めた。</p> <p>カトリックの立場によるキリスト教学の教科書。</p> <p>ラテン語文法の解説書。東北大学文学部および全学教育開講科目の教科書。</p>
---	---	--

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
[著書] 1. 岩波キリスト教辞典	共著	2002.6	岩波書店		大貫隆、宮本久雄、 名取四郎、百瀬文晃	2,2,17,49,51-52,57, 60-61,126, 145-6,223, 245, 250,266,317,317,330 ,404,506,527, 541,556, 558-9, 576,654,707, 710-1,802,804, 867,884,910,929, 962,1032,1069, 1076,1102,1129 1222,1222,1231
2. 新カトリック大事典 第4巻	共著	2009.4	研究社, 新カトリック大事典編纂委員会 編	相川ノブ子、 他 598 名	委員長:高柳俊一、 編集員:安齋伸、他 50 名	20 項目: 20, 41, 76, 98, 100, 126, 211, 235, 239, 255, 281-2, 295, 327, 370, 371, 394, 445, 446, 487, 965
[論文] 1. 宗教的人間学の可能性に向けて——臨床宗教師 の存在を契機とした神学的考察	単著	2018.3	『仙台白百合女子大学紀要』第 22 号(2017)			1-13 頁
2. ビザンティン典礼における「平和」の祈りとして の連祷	単著	2019.3	『人間の発達——仙台白百合 女子大学人間発達研究センタ ー紀要』第 13 号(2018)			41-50 頁
[その他] 1. ウクライナ避難民の復活祭 ヴェリークデニのパス スハ(復活祭)の早課「石巻でのウクライナの復活祭」	単著	2023.	『みやぎ宗連報』(宮城県宗 教法人連絡協議会) 49 号			27-28 頁
2. インタビュー「今こそ平和を」～ウクライナでの戦 争をめぐって	共著	2024.	『みやぎ宗連報』(宮城県宗 教法人連絡協議会) 50 号(20			25-30 頁

5. カトリック教会の典礼様式をめぐる人間学的考察	単著	2024.3	『仙台白百合女子大学人間学研究センター紀要』第 1 号 (2024)			42-71 頁
---------------------------	----	--------	------------------------------------	--	--	---------

翻訳

翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数
1. 『宣教のパラダイム転換(下)』12 章 12-13 項「神学としての宣教」「希望に満ちた行動としての宣教」	共訳	2001.3	新教出版社	有村浩一、 矢口洋生、他	監修: 鍋谷堯爾 14 名	396-426 頁

学術研究発表

発表テーマ	発表年月(西 暦)	発表場所
1. 「イコンの系譜——「父なる神」は書かれうるか」	2021.8	東方キリスト教学会第 21 回例会 (Zoom 開催)
2. 「典礼様式 ritus とウクライナ避難民の支援——カトリックの司牧典礼の可能性と限界についての考察」	2023.3	日本基督教学会東北支部第 57 回大会 (Zoom 開催)
3. 「人間学とは何か——歴史・課題」	2023.6	人間学研究センター「人間学研究プロジェクト」オープンセミナー 第 1 回
4. 「人間学とは何か——方法論と課題」	2023.7	人間学研究センター「人間学研究プロジェクト」オープンセミナー 第 2 回
5. 「人間学研究と人間学教育」	2023.12	人間学研究センター「人間学研究プロジェクト」オープンセミナー 第 3 回

II 所属学会

学会名	役職	入会年月(西暦)
1. 日本カトリック神学会		1991
2. 日本基督教学会	学会幹事(2003.6~8 期目) 学会賞審査委員(2020.4~2022)	1995
3. 東方キリスト教学会		2001
4. 日本宣教学会		2005

Ⅲ 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)
仙台白百合女子大学人間学 研究センター	2023	仙台白百合女子大学人間学 研究センター研究助成	人間学研究プロジェクト(人間学の基本研究)	305,000

3. 特記事項

(非常勤講師)

1. 東北大学(文学部) 「キリスト教史」担当(2018.10~現在)
2. 東北大学(全学教育) 「ラテン語Ⅰ」担当(1996.4~現在)
3. 東北大学(全学教育) 「ラテン語Ⅱ」担当(1996.4~現在)
4. 東北大学(文学部) 「ラテン語(初級)」前期担当(2011.4~現在)
5. 東北大学(文学部) 「ラテン語(初級)」後期担当(2004.4~2006.3 および 2010.4~現在)
6. 東北大学(文学部) 「ラテン語(中級)」前期担当(2024.4~現在)

(講演会・研修会等)

1. 講演「現代のニーズに応じて建学の精神を生かす教育——仙台白百合女子大学の 新カリキュラム改革を中心に」於・仙台白百合学園(2016.3.28)
2. 出張講座「死と生の間人間学——キリスト教的視点に基づいて」於：盛岡白百合学園高等学校、(2016.10.17)
3. 出張講座「聖書の目的別学び方」於・郡山ザベリオ学園中学校(2023.9.20)

(社会的活動)

1. 東北臨床宗教師会 副会長(2018.10~2021.9)
2. ロシアのウクライナ侵攻から2年の祈り—— 虐げられ亡くなった人々とウクライナの復活のために ——(2024.2) 於・本学
3. ウクライナ避難民のための復活祭(ウクライナ語・日本語による祈り)(2022.4, 2023.4, 2024.5) 於・石巻栄光教会

(大学の管理運営上の実績)

1. 仙台白百合女子大学 人間発達研究センター長(2018.4~2024.3)
2. 仙台白百合女子大学 カトリック研究所長(2024.4~現在)

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ ヤマザキ センジ 名 前 山崎 宣次	職 名 特任教授 人間学部 子ども教育学科	取 得 学 位 博士(学校教育学) (大学名) 兵庫教育大学 (取得年月) 2016年 3月
----------------------------	--------------------------	---

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
<p><1 教育方法の実践例> ・教える授業から学ばせる授業へ</p> <p><2 作成した教科書, 教材> ・小学校理科における基礎的な実験器具の使い方動画作成(7本)</p> <p><3 実務家教員についての特記事項> ・山梨県教員免許状更新講習(幼稚園教諭対象)自然科学 講師</p> <p><4 その他:社会活動・地域貢献活動の実績> ・甲府市審議会委員 ・甲府市幼児教育センター月齢別講座講師 ・岐阜大学教育学部附属学習協創開発センター プロジェクト研究員 ・未来の学び 小学生のための生涯学習講座 講師</p>	<p>2019年度～現在</p> <p>2013年10月～</p> <p>2019、2021年度</p> <p>2020～2022年度 2019～2022年度 2017～2022年度</p> <p>2021年10月</p>	<p>大学のすべての講義において、ジグソー法などを活用し、一方的な教授ではなく、学生自らお互いに調べ学ぶ授業を取り入れた。</p> <p>小学校教員を目指す学生向けに小学校で扱う基礎的な実験器具等(マッチ、アルコールランプ、ガスバーナー、電流計、ピペット、星座早見、実験用ガスコンロ等)の正しい使い方の動画を、学生をモデルに作成した。現職の教員向け研修としても使えるだけでなく、授業で小学生にも見せる教材としても制作した。 (マッチの正しい使い方は96,000回以上視聴されている。)</p> <p>甲府市廃棄物減量等推進審議会委員(学識経験者) 親子で楽しむ科学教室講師 ・タブレット PC 教育利用研究 ・産官学による学力向上協創プロジェクト研究 大学コンソーシアムやまなし主催の講座で「国語を科学する」の講演(山梨大学)</p>

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数

<著書> ・ 成功の秘訣 新任小学校教員のための確実な手引き4月から教壇に立つあなたに: これで教育方法も生徒指導もバッチリ		単著	2023年12月	Independently published (Amazon Kindle)			1-113
・ 未来の学び 小学生のための生涯学習講座 第2章「国語を科学しよう」		共著	2022年3月	学術研究出版	小菅健一 他6名	大学コンソーシアム やまなし「未来の学 び」運営委員会	38-59
<論文> ・ 教職課程学生の自然体験の実態 —幼稚園・小学校教員課程の学生から—		単著	2024年3月	子どもと自然学会誌 19号			44-54
・ 探究型の授業実践に向けた教職準備性 —探究の授業づくりにおける教師の協働性に注目して—		共著	2024年3月	大阪成蹊大学研究紀要 教育学部篇 10号	羽野ゆつ子、 山崎宣次、井 藤元		79-90
・ SEL を基盤とした探究型授業実践力養成プログラムの実践と評価 —授業に創発をもたらす教師の育成に向けて—		共著	2023年2月	大阪成蹊大学紀要9号	羽野ゆつ子、 山崎宣次、井 藤元		73-85
・ 教員養成におけるイノベティブ教育の試行～オンライン授業での探究型授業の実践～		共著	2022年3月	山梨県立大学 人間福祉学部 研究紀要 17号	山崎宣次、井 藤元、羽野ゆ つ子		123-131
・ イノベティブ教育(探究型授業)の実践に向けた教員養成の現状と課題 —教職志望学生の教職課程における学習に関する調査から—		共著	2022年3月	大阪成蹊大学紀要8号	羽野ゆつ子、 山崎宣次、井 藤元		187-199
・ 小学校の漢字・計算に対する学習意識に関する調査		共著	2020年2月	岐阜大学カリキュラム開発研 究 36号1	加藤直樹、興 戸律子、山崎 宣次他8名		131-138
・ 漢字と計算に対する学習意識と正答率について		共著	2020年2月	岐阜大学カリキュラム開発研 究 36号1	山崎宣次、興 戸律子、松井 徹、加藤直樹		108-116
・ テクノロジーを活用した豊かな学びの評価尺度の開発と予備調査		共著	2020年2月	岐阜大学カリキュラム開発研 究 36号1	及川浩和、加 藤直樹、埴岡 靖司、山崎宣 次		9-14
・ 幼稚園教育要領等の「内容」に関する保育者の		共著	2020年3月	山梨県立大学人間福祉学部	山崎宣次、奥		59-67

意識			紀要	谷佳子、吉田 真弓		
----	--	--	----	--------------	--	--

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員養成課程の学生の自然体験について ・ 教員養成課程の学生の生成 AI 利用実態について ・ 教員養成における イノベーティブ教育の実践 ー高等学校の総合的な探究の時間での取り組みー ・ 教員養成におけるオンラインを使ったイノベーティブ教育の試行 ー総合的な探究の時間に向けてー ・ 漢字・計算力向上のための振り返り活動の効果について ・ 学習振り返り活動時の教師支援のための個票ファイルの開発 ・ 小学校特別な教科道德の通知表所見の分析 ・ 教員養成における小学校理科の模擬授業 ～主体的で協働的な模擬授業とリフレクション～ ・ 個に応じた計算ドリルを使った取り組みとその成果 ・ 保育業務の現状と業務の情報化の課題 ・ 小学校 6 年生理科におけるプログラミング学習 ・ 漢字・計算学習に対する児童の学習意識と正答率の関係 	<ul style="list-style-type: none"> 2023 年 9 月 2023 年 9 月 2023 年 8 月 2022 年 8 月 2022 年 8 月 2022 年 3 月 2021 年 10 月 2021 年 9 月 2021 年 8 月 2020 年 8 月 2020 年 2 月 2020 年 2 月 	<ul style="list-style-type: none"> 日本科学教育学会第 47 回年会論文集 47 号(オンライン発表) 日本教育工学会 2023 年秋季大会(第 43 回大会)講演論文集 43 号 (オンライン、ポスター発表) 日本教育報学会 第 39 回年会論文集 39 号(オンライン発表) 日本教育報学会 第 38 回年会 38 号(オンライン発表) 日本科学教育学会年会論文集 46 号(オンライン発表) 第 40 回日本教育工学会 春季全国大会論文集 40 号(オンライン発表) 日本教育工学会 第 39 回秋季全国大会 39 号 日本理科教育学会 第 71 回全国大会論文集 71 号 日本教育報学会 第 37 回年会 37 号 日本教育報学会 第 36 回年会 36 号 日本教育工学会 2020 年春季全国大会(第 36 回大会) 日本教育工学会 2020 年春季全国大会(第 36 回大会)

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本教育情報学会 日本教育工学会	評議委員	2011 年 12 月 2011 年 11 月

日本科学教育学会 日本理科教育学会 教育システム情報学会 子どもと自然学会 人間福祉学会	副会長	1988年8月 2011年8月 2014年6月 2013年4月 2014年4月
--	-----	---

Ⅲ 研究費の助成を受けた研究(過去5年間) https://research-er.jp/researchers/view/463257				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 総額(円)
・科学研究費助成	2021年4月～ 2024年3月	基盤研究(C)	イノベティブ教育の実践に向けた教職志望学生の学習に関する縦断的研究	3,250,000
・文部科学省 令和2年度「学力向上のための基盤づくりに関する調査研究」	2019年4月～ 2022年3月	テーマ A-③「効果的な補充学習・家庭学習の実施」	学力向上のための基盤作りに関する調査研究	2,321,150
・科学研究費助成	2019年4月～ 2020年3月	基盤研究(C)	アブダクションを用いた豊かな学びモデルの開発	3,380,000

3. 特記事項

<p>【非常勤講師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環太平洋大学 通信教育部「理科教育法」(2020年4月～現在) <p>【researchmap】</p> <p>https://researchmap.jp/yamazakisenji</p> <p>【資格】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭専修免許状、中学校教諭専修免許状(理科)、高等学校専修免許状(理科) ・保育士資格 ・甲種危険物取扱者、毒物劇物取扱者

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ ユ サ シゲ キ 氏 名 遊 佐 重 樹	職 名 教授 人間学部 子ども教育学科	取 得 学 位 英語教授法修士 (大学名) University of San Francisco (取得年月) 1995 年 8 月
------------------------------	------------------------	--

2. 教育・研究業績表

(1) 過去 5 年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
1. 英語の授業におけるプレゼンテーションソフトの活用(毎年、内容更新)	2019.4	英語の授業におけるプレゼンテーションソフトの活用に着目し、以来、全ての担当授業において、プレゼンテーションソフトで作成した自作教材を使用している。受講学生からの評価も大変良好である。(～現在)
2. スマートフォンの録音アプリ活用	2019.4	英語の授業において、学生と私の英語発音をスマートフォンのアプリを活用して録音し、繰り返し発音練習を行なえるようにした。(～現在)

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
[論文] 1. “Linguistic Human Rights of Non-Japanese Children Living in Japan”	単著	2020.3	仙台白百合女子大学紀要 第 24 号			107-120 頁
[実践報告] 1. “How Teacher’s Linguistics Caliber Can Improve Elementary School and Junior High School English Education”	単著	2022.2	仙台白百合女子大学教職課程研究センター報 第 1 号			63-67 頁

2. “Pronunciaiton and Listening Comprehension Teaching Techniques in English Classes”	単著	2024.2	仙台白百合女子大学教職課程研究センター報 第3号			29-31 頁
[著書] 1. 『はじめてのビジネス・イングリッシュ Business English for Beginners』	共著	2014.2	三修社	芳野総子 植竹由美子		
[論文] 1. “MA-rvellous”	単著	2005.1	<i>English Teaching Professionals</i> Issue 36			33-40 頁
2. “What Japan Could Learn from the History of Bilingual Education in California”	単著	2011.2	仙台白百合女子大学紀要 第15号			59-72 頁

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
California Teachers of English to Speakers of Other Languages	国際渉外室委員(1999.4~2005.3)	1994.9
Teachers of English to Speakers of Other Languages		1994.10
National Association for Bilingual Education		1994.10
日本英文学会		1996.5(2017.3.21 退会)
東北英文学会		1996.6(2017.3.21 退会)
大学英語教育学会		1996.6(2017.4.17 退会)
日本カトリック教育学会		1996.9
日本ナサニエル・ホーソーン協会		1997.4(2017.2.22 退会)
アメリカ学会		1997.6

III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)
1.日本学術振興会	2020	科研費基盤研究(C)(一般)	「アジアの教育における仏系修道会の publicite 理念の影響に関する比較研究」	
2.日本学術振興会	2021	科研費基盤研究(C)(一般)	「アジアの女子教育におけるフランス系修道会の Saint Enfance 概念の影響」	

3. 特記事項

<p>1996.4 仙台白百合短期大学英語科 兼任講師(～2003.3)</p> <p>1996.8 仙台白百合女子大学パンフレットの英語への翻訳を行った。</p> <p>1997.4 本学の教育理念および建学の精神に沿った海外研修旅行(イタリア・フランス巡礼旅行)を企画し、以後、毎年この研修旅行の企画、手配および業務を担当した。(～2007.3) (2007.4 からは、国際交流センターの業務として、2013.3 まで担当)</p> <p>1997.8 仙台白百合短期大学パンフレットの英語への翻訳を行った。</p> <p>1998.2 「イタリア・フランス巡礼旅行」旅行団を引率した。</p> <p>1998.4 東北学院大学経済学部 非常勤講師(～2000.3)</p> <p>1998.7.31-9.12 ドイツ・ハイデルベルク大学にてドイツ語研修に参加。初級外国語教授法の研究。同時に、早期外国語教育に関する資料を収集した。</p> <p>1999.2 「イタリア・フランス巡礼旅行」旅行団を引率した。</p>
--

- 1999.4 東北大学全学教育 非常勤講師(～2004.3)
- 2000.2 「イタリア・フランス研修旅行」旅行団を引率した。
- 2000.3 女子大、短大統合にともなう将来構想準備委員会作業グループのメンバーとして、新学科(国際教養学科)設置のための検討・準備を行った。
- 2000.4 東北大学全学教育 非常勤講師(～2009.3, 2010.4～現在)
- 2001.7.28-9.8 イタリア・ペルージャ大学にてイタリア語研修に参加。また、マルチメディア語学教育においてイタリアの最先端であるアッシジ語学学校にて Chiuchiu 校長(元ペルージャ大学外国語学部長)の授業を見学し、マルチメディアを利用した語学教授法のあり方について研究した。
- 2001.9 マルチメディア語学教育を充実させるため、旧来の LL 教室をマルチメディア教室に改装した。「私立大学等研究設備整備費等補助金」
- 2001.11 『一本の四季桜を愛でて』鈴木宣明編(聖母文庫)の中の『二千万分の一』71-80 頁を執筆。聖書を引用しながら、自分の留学体験について執筆した。
- 2002.4 イタリア語サークル『チャオ』の顧問として、約 50 名の学生に週 1 回、イタリア語の指導を行うとともに、イタリア文化などを教えている。(～現在)
- 2002.4 新設の国際教養学科で毎年実施される現地実習(短期海外研修旅行)の企画、手配および業務を担当した。(～2007.3)(2007.4 からは、国際交流センターの業務として、2009.3 まで担当)
- 2002.4 健康栄養学科の教育目標に合致した食文化研究の旅(短期海外研修旅行)を企画し、以後、毎年実施されるこの研修旅行の企画、手配、および業務を担当した。(～2007.3)(2007.4 からは、国際交流センターの業務として、2009.3 まで担当)
- 2002.5 仙台白百合女子大学新学科体制に関するパンフレットの英語への翻訳を行った。
- 2002.10 仙台白百合女子大学新学科体制発足記念式典・講演会(三笠宮崇仁・寛仁親王殿下)内容の英語への翻訳を行った。
- 2002.12 「食文化研究の旅:イタリア・スローフードの旅」旅行団を引率した。
- 2003.2 「仙台白百合女子大学カトリック研究所論集」第7号の中の『放蕩息子だった遊佐少年』149-155 頁を執筆。聖書を引用しながら、自分の人生経験について執筆した。
- 2003.4 姉妹校の仙台白百合学園高等学校がスーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクールに指定され、運営指導委員の委嘱を受けた。以後、同校の英語授業の運営に対する助言および指導を行った。(～2006.3)
- 2003.6 学報『リスブラン』第 42 号の編集長を務めた。
- 2003.12 学報『リスブラン』第 43 号の編集長を務めた。
- 2004.2 「仙台白百合女子大学カトリック研究所論集」第8号の中の『ご先祖様の不思議』183-188 頁を執筆。聖書を引用しながら、留学中の出来事について執筆した。
- 2004.4 (財)日本道路サービス機構の施設管理アドバイザーとして、高速道路サービスエリアのサービス向上に関する調査・助言を行った。(～2005.3)
- 2004.6 学報『リスブラン』第 44 号の編集長を務めた。
- 2004.8 高齢者福祉複合施設「カリタスの丘」パンフレット「創立を記念して」の英語への翻訳を行った。
- 2004.9 「国際教養現地実習:カリフォルニア大学リバーサイド校」旅行団を引率した。
- 2004.12 学報『リスブラン』第 45 号の編集長を務めた。
- 2005.2 「仙台白百合女子大学カトリック研究所論集」第9号の中の『貧しさがもたらす幸福』163-167 頁を執筆。聖書を引用しながら、自分の人生経験について執筆した。
- 2005.3 高齢者福祉複合施設「カリタスの丘」パンフレットの英語への翻訳を行った。
- 2005.6 仙台白百合女子大学に国際交流センターを設置するための検討を行い、規程を作成し、国際交流センター開設のための事前準備を行った。(～2007.3)
- 2005.6 学報『リスブラン』第 46 号の編集長を務めた。
- 2005.12 学報『リスブラン』第 47 号の編集長を務めた。
- 2006.2 「イタリア・フランス研修旅行」旅行団を引率した。

- 2006.3 学報『リスブラン』第 48 号(開学 10 周年記念特集号)の編集長を務めた。
- 2006.9 宮城県岩出山高等学校で実施された進路別ガイダンスの講師として、同校2年生を対象に大学における英語の模擬授業を行った。
- 2006.9 河北新報社による取材を受け、「小学校英語必修化」の内容で特集記事が掲載された。(河北新報 2006.9.15 夕刊)
- 2006.9 マルチメディア語学教育を充実させるため、普通教室5室(3・4号館)をマルチメディア教室に改装するためのコーディネーターを務めた。「私立大学等研究設備整備費等補助金」(～2007.9)
- 2007.2 「仙台白百合女子大学カトリック研究所論集」第11号の中の『聖書とアメリカ先住民』179-183 頁を執筆。聖書を引用しながら、アメリカ先住民の文化について執筆した。
- 2007.2 「食文化研究の旅:コルシカ島と北イタリアのスローフード」旅行団を引率した。
- 2007.3 河北新報社による取材を受け、「小学校英語の効果・今後の在り方」の内容で特集記事が掲載された。(河北新報 2007.3.27 朝刊)
- 2007.4 国際交流センターの初代センター長として、留学、海外研修旅行、国際交流活動等を組織として一元化し、その推進に努めた。カリフォルニア大学リバーサイド校、カナダ・ヴィクトリア大学、韓国・釜慶大学校との留学協定を締結し、本学初の交換留学生を迎え入れる手順を整えた。(～2009.3)
- 2007.6 国際交流センター ニュースレター『LA PIAZZA』創刊号の編集長を務めた。
- 2007.6 宮城県中新田高等学校の生徒を対象に模擬授業を行った。
- 2007.7 聖ウルスラ学院英智高等学校の生徒を対象に模擬授業を行った。
- 2007.7 本学オープンキャンパスにおいて模擬授業を行った。
- 2007.11 宮城県中新田高等学校の生徒を対象に模擬授業を行った。
- 2007.11 国際交流センター ニュースレター『LA PIAZZA』第 2 号の編集長を務めた。
- 2008.4 東北こども福祉専門学院(豊岡短期大学 通信教育部)非常勤講師(～2009.3, 2010.4～現在)
- 2008.5 フィリピン・パッシングで開催された「第 4 回国際 SPC 教育者学会」に参加する日本代表団の団長を務めた。
- 2008.6 国際交流センター ニュースレター『LA PIAZZA』第 3 号の編集長を務めた。
- 2008.7 山形県天童高等学校の生徒を対象に模擬授業を行った。
- 2008.7 聖ウルスラ学院英智高等学校の生徒を対象に模擬授業を行った。
- 2008.7 本学オープンキャンパスにおいて模擬授業を行った。
- 2008.10 石巻市立女子高等学校の生徒を対象に模擬授業を行った。
- 2008.10 宮城県角田高等学校で実施された進路別ガイダンスの講師として、同校1～2年生を対象に大学における英語の模擬授業を行った。
- 2008.11 国際交流センター ニュースレター『LA PIAZZA』第 4 号の編集長を務めた。
- 2009.2 「国際教養現地実習:シンガポール国立大学」旅行団を引率した。
- 2009.4 教員特別研修(サバティカル)(アメリカ・スタンフォード大学客員研究員等)(～2010.3)
- 2010.4 大学広報室長(～2012.3)
- 2010.7 聖ウルスラ学院英智高等学校の生徒を対象に模擬授業を行った。
- 2010.9 本学オープンキャンパスにおいて模擬授業を行った。
- 2010.10 宮城県名取高等学校の生徒を対象に模擬授業を行った。
- 2011.6 学報『リスブラン』第 59 号の編集長を務めた。
- 2011.6 聖ウルスラ学院英智高等学校の生徒を対象に模擬授業を行った。

2011.7 本学オープンキャンパスにおいて模擬授業を行った。

2011.10 宮城県名取高等学校の生徒を対象に模擬授業を行った。

2011.12 学報『リスブラン』第 60 号の編集長を務めた。

2012.3 学報『リスブラン』第 61 号(東日本大震災発生から1年:メモリアル号)の編集長を務めた。

2012.4 国際交流センター長(～2013.3)

2012.4 白百合女子大学(東京)非常勤講師(～現在)

2012.5 白百合女子大学(東京)で講演「被災地の1年」を行った。

2012.6 学都仙台サテライトキャンパス講座講師『やさしく学ぶ本格的英語発音講座』(6/2, 6/9, 6/16)

2012.10 宮城県名取高等学校の生徒を対象に模擬授業を行った。

2013.2 「国際教養学科・異文化体験:シンガポール」旅行団を引率した。(団長)

2013.2 「イタリア・フランス研修旅行」旅行団を引率した。(団長)

2013.6 学都仙台サテライトキャンパス講座講師『やさしく学ぶ本格的英語発音講座 初～中級』(6/15, 6/22, 6/29)

2013.7 本学オープンキャンパスにおいて模擬授業を行った。

2013.10 常盤木学園高等学校の生徒を対象に模擬授業を行った。

2014.3 大成女子高等学校(茨城県水戸市)の生徒を対象に模擬授業を行った。

2014.5 仙台白百合短期大学・女子大学栄養士同窓会「ゆりの会」で講演会講師を務めた。『世界の食卓から見たもの What I have Seen from Tables Overseas』

2014.7 宮城県塩釜高等学校の生徒を対象に模擬授業を行った。

2014.11 本学オープンキャンパスにおいて模擬授業を行った。

2015.4 本学オープンキャンパスにおいて模擬授業を行った。

2015.7 仙台白百合学園小学校において、教育シンポジウム「CLIL 型学習について」の司会を務めた。

2015.9 岩手県立水沢高等学校において、スーパーサイエンスハイスクール SSH 特別講義を行った。

2016.7.23 本学オープンキャンパスにおいて模擬授業を行った。

2016.10.18 盛岡白百合学園高等学校において、出張講座の講師を務めた。

2016.11.26 本学オープンキャンパスにおいて、一般入試(英語)のワンポイントアドバイスをこなった。

2017.6.22 聖ウルスラ学院英智高等学校の生徒を対象に模擬授業を行った。

2017.10.28, 10.29 本学オープンキャンパスにおいて、一般入試(英語)のワンポイントアドバイスをこなった。

2018.3.1 SHIRAYURI EXPRESS Vol.II, 2017-2018 に “Thinking of My Past and Future” を執筆した。

2018.3.1 「仙台白百合女子大学カトリック研究所講話集」第8号の中の『教師の 10 箇条』47-51 頁を執筆。聖書を引用しながら、教育者のあるべき姿について執筆した。

2018.3.20 第2回東北地区 SGH 課題研究発表フォーラム in 杜の都においてコメンテーターを務めた。

2018.5.25 St. Paul College, Paranaque から教職員 20 名が来学した際、本学側のコーディネーターを務めた。

2018.6.2 仙台白百合短期大学・女子大学栄養士同窓会「ゆりの会」で講演会講師を務めた。『世界の食卓から見たもの What I have Seen from Tables Overseas, Part2』

2018.6.23 本学オープンキャンパスにおいて模擬授業を行った。

2018.10.17 授業動画テスト公開用撮影に協力した。(国際観光論)

2018.10.27, 10.28 本学オープンキャンパスにおいて、一般入試(英語)のワンポイントアドバイスをこなった。

2018.11.8 宮城県名取高等学校の生徒を対象に模擬授業を行なった。

2019.3.1 「仙台白百合女子大学カトリック研究所講話集」第9号の中の『母の思い出「明日を思い煩うことなかれ」』25-28 頁を執筆した。

2019.10.5 夢ナビライブ講義(仙台会場)で講師を務めた。「子どもは語学の天才!? 児童英語教育とは」(夢メッセみやぎ)

2019.10.17 福島県立福島南高等学校において、「学びの森」の講師を務めた。

2019.10.26, 10.27 本学オープンキャンパスにおいて、一般入試(英語)のワンポイントアドバイスをこなった。

2020.3.1 「仙台白百合女子大学カトリック研究所講話集」第10号の中の『やさしさ KINDNESS』31-34 頁を執筆した。

2020.4.1 人間発達学科学科長(～現在)

2020.4.1 仙台市立市名坂小学校の2020年度学校評議員・学校関係者評価委員に就任した。

2020.6.12 学報『リスブラン』78号用に学科長メッセージを執筆した。

2020.7.9 山形学院高等学校において、「ワンデーカレッジ」(1年生対象)の講師を務めた。

2020.9.6 本学オープンキャンパスにおいて模擬授業を行なった。

2020.9.17 秋田県立横手城南高等学校において、「進路ガイダンス」(1・2年生対象)の講師を務めた。

2020.8.24 宮城県利府高等学校から進路情報誌『利府 style』用の掲載文を依頼され執筆した。

2020.8.26 仙台市私立幼稚園連合会から情報誌用の掲載文を依頼され執筆した。

2020.10.15 福島県立福島南高等学校において、「学びの森」の講師を務めた。

2020.10.24, 10.25 本学オープンキャンパスにおいて、一般入試(英語)のワンポイントアドバイスをこなった。

2021.1.29 大崎中央高等学校の進学相談会(Zoom)で、教育分野希望者のグループとの話し合いで講師を務めた。

2021.4.1 仙台白百合女子大学同窓会報50号用にコロナ禍における学科の取り組みについて執筆した。

2021.4.1 仙台市立市名坂小学校の2021年度学校評議員・学校関係者評価委員に就任した。

2021.4.26 宮城県高等学校英語教育研究会(5/7)がコロナ禍で中止となり、講演内容をまとめた。(後日、研究会事務局から宮城県内全ての高等学校に送付された)

2021.6.10 学報『リスブラン』80号用に学科長メッセージを執筆した。

2021.8 人間発達学科再編臨時委員会のメンバーに選ばれ、委員長を務めた。(～2022年5月25日)

2021.10.14 福島県立福島南高等学校において、「学びの森」の講師を務めた。

2021.10.27 学校関係者評価委員を務めている仙台市立市名坂小学校の『ともそだ通信』への掲載文を執筆した。

2021.11.1 「仙台白百合女子大学 東日本大震災の記憶」の中の『忘れられない景色とともに』120-131 頁を執筆した。

2021.11.10 人間発達学科FDにおいて講師を務めた。『英語教育に生かす言語学の知識』

2022.3.1 「仙台白百合女子大学カトリック研究所論集」第26号の中の『人生山あり谷あり Life Has Its Ups and Downs』141-145 頁を執筆した。

2022.3.20 本学オープンキャンパスにおいて模擬授業を行なった。

2022.3.30 2023年度の新学科開設に伴い、文科省に教職課程の設置申請を行なった。

2022.4.1 仙台市立市名坂小学校の学校運営協議会準備委員会委員に就任した。

2022.4.28 2023年度の新学科開設に伴い、文科省大学設置室に届出申請を行なった。

2022.5.13 宮城県高等学校英語教育研究会総会において、講演会の講師を務めた。『授業に活かす言語学のエッセンス』

2022.6.13 人間発達学科で公務員を志望している学生対象の「公務員試験対策講座」を担当した。(英語)

2022.6.16 人間発達学科で教員採用試験の受験を希望している学生を対象に「教採対策講座」を担当した。(小学校全科・外国語活動・外国語)

2022.6.25 本学オープンキャンパスにおいて模擬授業を行なった。

2022.8.8 夢ナビライブ講義(Zoom)の講師を務めた。「言語学を知って、英語力 UP!」(7月8日 収録)

2022.9.13 本学「ゆりっこ広場」においてキッズイングリッシュを担当した。(ハットフィールド先生とともに)

2022.9.16 東北生活文化大学高等学校において、「大学 SDGs x 模擬講義」の講師を務めた。『SDGs④ 異国で教育を受けるということー日本とアメリカ 移民の教育事情』

2022.10.13 福島県立南高等学校において、「学びの森」の講師を務めた。

2022.10.15 夢ナビライブ講義・研究室訪問(Zoom)で、全国の高校生からの質問に答えた。(3コマ担当)

2022.11.11 仙台市立松陵中学校生徒の本学での「職場体験活動」において、研究室訪問を担当した。

2022.12.1 仙台市立市名坂小学校の学校運営協議会委員に就任した。(～現在)

2022.12.3 本学オープンキャンパスにおいて、模擬授業を行なった。

2023.3.25 本学オープンキャンパスにおいて、模擬授業を行なった。

2023.5.15 郡山ザベリオ学園中学校において、講演と模擬授業を行なった。『実践的な英語力の育成と活用のための学習法』

2023.5.26 古川学園高等学校において、「学びの風」講演『Learning Can Take You to Places You Never Imagined』と、模擬授業『Learn Linguistics and Increase Your English Ability!』を行なった。

2023.7.16 本学オープンキャンパスにおいて、模擬授業を行なった。

2023.9.26 本学「ゆりっこ広場」においてキッズイングリッシュを担当した。(ハットフィールド先生とともに)

2023.10.21, 10.22 本学オープンキャンパスにおいて、一般入試(英語)のワンポイントアドバイスをを行なった。

2023.11.8 仙台市立松陵中学校生徒の本学での「職場体験活動」において、研究室訪問を担当した。

2023.11.29, 12.1 仙台市立七北田中学校生徒の本学での「職場体験活動」において、研究室訪問を担当した。

2023.12.1 仙台市立市名坂小学校の学校運営協議会会長に就任した。(～現在)

2023.12.2 本学オープンキャンパスにおいて、クリスマス講話を担当した。

2023.12.2 本学オープンキャンパスにおいて、模擬授業を行なった。

2024.2.17 外部評価委員会で学科再編に関するプレゼンテーションを行なった。(Zoom)

2024.3.23 本学オープンキャンパスにおいて、模擬授業を行なった。

2024.4.1 大学基準協会委員に就任した。(～現在)

2024.4 『あんふあん 5月号』(仙台リビング新聞社発行)にインタビュー記事が掲載された。「子どもの英語教育は、早い方がいいの?」

2024.4 子ども教育学科の海外研修旅行「児童英語海外教育研修」のコーディネーターを担当した。

2024.4.26 クラーク記念国際高等学校において講演を行なった。『一生かけて正解を探そう Take Your Time to Find YOUR Right Answer』

2024.5.1 子ども教育学科 FD において講師を務めた。『学科としての入試広報戦略』

2024.5.29 本学ヒーリングアワーを担当した。『Amazing Grace の謎』

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ シケ マサヒロ 氏 名 四家 昌博	職 名 准教授 人間学部 子ども教育学科	取 得 学 位 博士(芸術学) (大学名) 日本大学大学院 (取得年月) 2019年3月
---------------------------	-------------------------	--

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
福島県立高等学校の常勤講師(芸術・音楽科)として勤務し、授業や部活動等で音楽教育を実践した。	2004. 4 ～ 2008. 3	<p>授業として「音楽Ⅰ」、「音楽Ⅱ」、「音楽Ⅲ」、「総合的な学習の時間(ミュージック講座)(講座別学習)」、「保育音楽」を担当し、生徒の個別能力に合わせた、音楽能力の向上を図る授業を実践した。</p> <p>また、福島県高等学校教育研究会音楽部会、福島県高等学校音楽連盟、福島県吹奏楽連盟に所属・加盟し、高等学校における音楽教育の発展に努めた。とくに和楽器指導のための箏、三味線の演奏法、指導法を定期的に研修会に参加し地区教員とともに研究した。</p> <p>部活動「音楽部」の顧問を務め、学内発表会や、学校行事、地域行事での演奏、地域施設での演奏をはじめ、吹奏楽コンクールやアンサンブルコンテストなどに参加し、発表の機会を設け、音楽活動での地域参加を推進し、生徒の自主的、意欲的な活動を牽引した。</p> <p>「総合的な学習の時間(ミュージック講座)」では、「音楽ができること」を考える学習を目指し、グループでの歌唱、ピアノ連弾、バンド演奏、作詞・作曲など様々な音楽活動を体験し、また知的障がい者入所更生施設への訪問演奏を通じて、利用者とのコミュニケーションが取れる演奏発表を実践し、新聞に掲載されるなど、好評を得た。</p> <p>2006年度からの学科改編に伴い、教育課程委員会に芸術科主任として携わり、保育・幼児教育系進学者のための学校設定科目「保育音楽」、「造形美術」、「総合芸術(音楽・美術)」を立ち上げ、カリキュラムを構築し、授業を実践した。</p>

<p>本学において、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭養成養成課程におけるピアノの授業のコーディネートを行った。</p>	<p>2008. 4～現在</p>	<p>本学の保育士、幼稚園教諭、小学校教諭養成課程におけるピアノ関連科目「ピアノ入門 A・B」、「ピアノ I A・B」、「ピアノ II」のコーディネート(レベル別のクラス分け、非常勤講師と連絡や共通理解、実技試験の手配等)を担当し、限られた設備や時間の中で、学生一人ひとりの能力に合わせた授業が行えるような環境づくりに努めている。</p>
<p>「ピアノ入門 A・B」、「ピアノ I A・B」、「ピアノ II」の授業を実践した。</p>	<p>2008 年～現在</p>	<p>「ピアノ入門 A・B」、「ピアノ I A・B」、「ピアノ II」の授業を担当し、「ピアノ入門・BA」では、ピアノ初学者に対する効果的な指導法を研究しながら、個々の能力に合わせた授業を実践している。「ピアノ I A・B」、「ピアノ II」では、基礎的なピアノ奏法をもとに、保育実習や幼稚園教育実習、小学校教育実習やそれぞれの採用試験等に備え、弾き歌い能力や、音楽表現のさらなる向上を目的とした授業を行っている。 期末試験終了後には、学生へのアンケートを実施し、学生の実態を踏まえたうえで、授業改善やカリキュラムの再考に役立てている。</p>
<p>音楽科目(ピアノ、楽典)、その他幼稚園教諭、保育士、小学校教諭の資格、免許取得のための授業等を実践した。</p>	<p>2010 年～現在</p>	<p>2010 年度より、「基礎技能(音楽)」を、2012 年度より、「子どもと音楽」を担当し、保育・幼児教育、また小学校音楽教育に必要とされる音楽の基礎的知識・楽典や、手遊び・弾き歌いなどの音楽的能力、リコーダー、和楽器の基礎的な演奏の能力を養うための授業を行っている。 2018 年度より、「保育内容(表現(音楽))」の授業を担当し、領域「表現」の音楽に関する内容、指導法について、また「初等教科教育法(音楽)」を担当し、小学校音楽科における指導方法について、「保育表現技術」を担当し、音楽と音楽以外の分野での総合的な表現について、指導している。さらに「保育実習指導」、「初等教育実習の事前事後指導 A、B」についても担当している。</p>
<p>「子ども発達総合演習 I、II、III、IV」を担当し、「卒業発表演奏会」を開催している。</p>	<p>2018 年～現在</p>	<p>「子ども発達総合演習 I、II、III、IV」(ゼミ)では、教育・保育に関わる音楽について実技を中心に活動し、卒業時には「卒業発表演奏会」として、ピアノやその他楽器の合奏や独奏、合唱などでの演奏会を開催している。</p>
<p>「ピアノ入門 A」のオリジナル教材を作成した。</p>	<p>2016 年～現在</p>	<p>教育・保育現場でのピアノ演奏や弾き歌いについて、ピアノ初学者が効果的に学習することができるようオリジナルの教科書を授業担当者とともに作成した。2018 年度からはピアノ初学者が効果的に学習することができるよう研究結果に基づき改定を重ねている。</p>

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
[著書(CD)] CD付き楽譜「ファーストポジションで奏でる ヴァイオリン曲集15」の模範演奏CD(ピアノ伴奏)	共著	2003. 4	ドレミ楽譜出版社	作曲者:ニコ ル麻莉子 ヴァイオリン: 伝田正秀		
[論文] フランツ・リスト作曲「巡礼の年 第2年 イタリア」 における、音楽と他分野の芸術の関係	単著	2004. 1	日本大学大学院芸術学研究科 修士論文			
オペレッタ活動の教育的効果について —2014 年度「保育内容(音楽とリズム)」における授 業実践から—	共著	2016. 3	仙台白百合女子大学紀要第 20 号	岩淵摂子		p195～210
日本におけるピアノ教育受容史:ピアノ教育初期の 教育者と教材について	単著	2018. 3	日本大学大学院芸術学研究科博 士後期課程研究詩『芸術・メディア・ コミュニケーション』			
日本のピアノ教育初期の教則本について—保育 者、小学校教員養成課程におけるピアノ初学者を 対象とした教材開発に向けて—	単著	2018. 3	仙台白百合女子大学紀要第 22 号			p75～98
「保育者、小学校教員養成課程におけるピアノ初学 者へのピアノ指導—効果的なピアノ学習のための新 しい教材の開発—」	単著	2019. 3	博士論文			

「保育内容(環境)とインクルーシブ保育に関する研究ー特別な支援を必要とする子どもの遊びの場面の事例からー」	共著	2019. 3	仙台白百合女子大学人間発達研究センター紀要「人間の発達」第 13 号	佐野裕子		p33~39
「保育内容(環境)(人間関係)とインクルーシブ保育に関する研究」	共著	2020. 3	仙台白百合女子大学人間発達研究センター紀要「人間の発達」第 14 号	佐野裕子		p21~28
「保育内容(表現)とインクルーシブ保育に関する研究ー特別な支援を必要とする子どもの遊びの場面の事例からー」	共著	2020. 3	仙台白百合女子大学人間発達研究センター紀要「人間の発達」第 14 号	佐野裕子		p29~38
「アクティブ・ラーニングを中心とした「保育表現技術」の授業実践の事例Ⅰー身体・音楽・造形の総合的な表現活動を通した保育実践力の育成を目指してー」	共著	2020. 3	仙台白百合女子大学人間発達研究センター紀要「人間の発達」第 14 号	仁藤喜久子 千凡晋		p39~52
「アクティブ・ラーニングを中心とした「保育表現技術」の授業実践の事例Ⅱー領域(表現)・保育内容(表現)と関連付けてー」(研究報告)	共著	2020. 10	日本児童学会「児童研究」第 99 巻	仁藤喜久子 千凡晋		p48~58
小学校教員養成課程における音楽科教育法に関する考察ー和楽器(箏)の指導についてー	単著	2021. 9	仙台白百合女子大学人間発達研究センター紀要「人間の発達」第 15 号			p17~26
幼稚園教育実習指導の実践ー模擬保育を通した学生の学びー(実践報告)	共著	2022. 2	仙台白百合女子大学教職課程研究センター報第 1 号	千凡晋		p23~30

保育中の歌について —子どもの歌についてのアンケートから—	共著	2022. 3	聖和学園短期大学紀要 第 59 号	岩淵摂子 佐藤万利子 松村万里子		p161~175
幼稚園教育実習指導の実践Ⅱ —実習を通じた学生の学び—(実践報告)	共著	2023. 2	仙台白百合女子大学教職課程研 究センター報第 2 号	千凡晋		p13~17
幼小接続期における教育課程の日韓比較研究Ⅰ— 領域「表現」・「芸術経験」を中心に—	共著	2024. 2	仙台白百合女子大学教職課程研 究センター報第 3 号	千凡晋		p3-10
音楽科における小大連携の試み	共著	2024. 2	仙台白百合女子大学教職課程研 究センター報第 3 号	古川詠子		p17-22

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数

芸術、体育実技等の分野			
競技会・展覧会・演奏会の名称	競技会・展覧会・演奏会の場所	開催年月	発表・展示内容等
[演奏] 第 22 回日本ピアノ教育連盟ピアノオーディション	保谷こもれびホール	2006. 3	ピアノ独奏

E 部門本選(入賞(最高位))			
「第 2 回 東京ピアノコンクール 本選」第 2 位	大田区民プラザ	2011. 1	ピアノ独奏
「2012 アジア国際音楽コンクール」第 1 位 (ピアノ一般部門)	旧東京音楽学校音楽堂	2012. 8	ピアノ独奏
「第 17 回 JILA 音楽コンクール」ピアノ部門 第 2 位(1 位なし)	渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール	2012. 9	ピアノ独奏
「一緒に一歩コンサート」(富岡町 3.11 を語る会主 催)	いわき市文化センター大ホール	2016. 2	ピアノ独奏
東日本大震災追悼演奏(富岡町社会福祉協議 会主催)	富岡町社会福祉協議会おだか いさまセンター	2016. 3	ピアノ独奏
「四家昌博ピアノリサイタル」 (富岡町、NPO 法人富岡町 3・11 を語る会 主催)	星総合病院メグレズホール	2016. 9	ピアノ独奏
龍台寺施餓鬼会での演奏会	せきのホール	2016. 10	フルート、クラリネット、ピアノによる演 奏会
「ピアノの饗宴」	音楽の友ホール	2016. 11	ピアノ独奏
「やすらぎコンサート 13」 (いわき市立高坂小学校教育後援会主催)	いわき市立高坂小学校	2016. 11	ソプラノ、フルート、ピアノによる演奏会
「四家昌博 ピアノリサイタル」	松尾ホール (スタインウェイサロン東京)	2017. 1	ピアノ独奏
江東区立八名川小学校「八名川ミュージックチャ ンネル」(歌とピアノのコンサート)	江東区立八名川小学校	2017. 2	歌とピアノによるコンサート
「楊麗貞と門下生による Brilliant concert」	カワイ表参道サロン「パウゼ」	2017. 3	ピアノ独奏
東日本大震災追悼演奏(富岡町社会福祉協議 会主催)	富岡町社会福祉協議会	2017. 3	ピアノ独奏
「第 33 回 JPTA ピアノオーディション東北地区優 秀賞記念コンサート」における招待演奏	常盤木学園シュトラウスホール	2017. 3	ピアノ独奏
ピアノと朗読によるコンサート 「富岡の空へ～帰郷の時～」	富岡町文化交流センター「学び の森」大ホール	2017・6	朗読とピアノ独奏によるコンサート
Les Concerts des Étudiants de l'Académie Internationale d'Été de Nice	フランス・ニース地方音楽院コン サートホール	2017・8	ピアノ独奏

(ニース国際音楽アカデミー 受講生選抜コンサート)			
「ピアノの饗宴」	音楽の友ホール	2017・11	ピアノ独奏
「やすらぎコンサート14」 (いわき市立高坂小学校教育後援会主催)	いわき市立高坂小学校	2017・11	ソプラノ、フルート、ピアノによる演奏会
朗読・朗読劇フェスタ～蔵で読む～ ドラマリーディング「空の村号」(劇中のピアノ演奏)	創空間「富や蔵」	2017・11	朗読劇中のピアノ演奏
演劇キャンプ in 富岡 報告会 演劇「空の村号」(劇中のピアノ)	国立オリンピック記念青少年総合センター 大ホール	2018・2	演劇中のピアノ独奏
「楊麗貞と門下生による Brilliant concert II」	カワイ表参道コンサートサロン「パウゼ」	2018・2	ピアノ独奏
「やすらぎコンサート15」 (いわき市立高坂小学校教育後援会主催)	いわき市立高坂小学校	2019・2	フルート、テノール、ピアノによる演奏会
「日本大学大学院芸術学研究科修了演奏会」	練馬文化センター	2019・3	ピアノ独奏
「やすらぎコンサート16」 (いわき市立高坂小学校教育後援会主催)	いわき市立高坂小学校	2019・10	ソプラノ、テノール、ピアノによる演奏会
「仙台白百合女子大学 人間発達学科四家ゼミ卒業研究発表演奏会」(講師演奏)	仙台白百合女子大学 講堂	2019・12	ピアノ独奏、ピアノ連弾
「ランチタイムコンサート vol.115 お話と音楽で綴る くるみ割り人形」(上野学園 石橋メモリアルホール主催)	上野学園 石橋メモリアルホール	2020・11	2台ピアノによる演奏会
「仙台白百合女子大学 人間発達学科四家ゼミ卒業発表演奏会」(講師演奏)	仙台白百合女子大学 講堂	2021・1	ピアノ独奏、連弾、伴奏
「仙台白百合女子大学 人間発達学科四家ゼミ卒業発表演奏会」(講師演奏)	仙台白百合女子大学 講堂	2022・1	ピアノ独奏、連弾、伴奏
「富岡演劇祭 オープニングセレモニーでのピアノ演奏」(主催:NPO 法人 富岡町 3・11 を語る会 共催:富岡町)	富岡町文化交流センター「学びの森」大ホール	2023.1	ピアノ独奏、伴奏
「仙台白百合女子大学 人間発達学科四家ゼミ卒業発表演奏会」(講師演奏)	仙台白百合女子大学 講堂	2023・1	ピアノ独奏、伴奏など

「いわき市立高坂小学校 体育館落成記念やすらぎコンサート」(いわき市立高坂小学校教育後援会主催)	いわき市立高坂小学校	2023・2	ピアノ独奏, 伴奏
郡山ザベリオ学園「音楽を楽しもう」講座とミニコンサート	郡山ザベリオ学園	2023.6	ピアノ独奏
仙台白百合学園中・高学園祭での小学校合唱クラブとの共演	仙台白百合学園レジナパースホール	2023.9	ピアノ伴奏, 独奏
仙台白百合女子大学第 2 回ランチタイムコンサート「ファカルティコンサート」	仙台白百合女子大学講堂	2023.11	ピアノ独奏, 伴奏
いわき市立高坂小学校「やすらぎコンサート」	いわき市立高坂小学校	2023.12	フルート, ピアノによる演奏会
仙台白百合女子大学第 3 回ランチタイムコンサート「クリスマスコンサート」	仙台白百合女子大学講堂	2023.12	ピアノ伴奏
「仙台白百合女子大学 人間発達学科四家ゼミ卒業発表演奏会」(講師演奏)	仙台白百合女子大学講堂	2024.1	ピアノ独奏, 伴奏など
4 人のピアニストによるプレゼンコンサート	宮城野区文化センター パトナホール	2024.3	ピアノ独奏
カンタービレ会コンサート-楊麗貞先生と門下生による-	加賀町ホール	2024.3	ピアノ独奏

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所
福島県高等学校教育研究会音楽部会:研究発表「和楽器指導のための、箏曲演奏の実践(沢井忠夫作曲:「つち人形」、「花筏」等の演奏)」(福島県高等学校教育研究会音楽部会相双支部共同研究発表)	2006. 6	福島県高等学校教育研究会音楽部会会場(福島県立福島商業高等学校、あづま荘)
本学のピアノ指導における課題と展望 ～カリキュラムの見直しと教育実習アンケートの結果から～	2013. 6	全国大学音楽教育学会平成 25 年度東北地区学会(仙台市シルバーセンター)
保育者、小学校教諭養成課程における効果的なピアノ指導について	2016. 6	全国大学音楽教育学会平成 28 年度東北地区学会(青森明の星短期大学)
学生主導による表現活動を中心とした授業構成の事例 —仙台白百合女子大学「保育表現技術」授業実践—	2019. 3	日本保育者養成教育学会 第3回研究大会

保育者、小学校教員養成校における連弾学習に適した楽曲の考察 ～中田喜直の連弾曲に焦点を当てて～	2019. 3	全国大学音楽教育学会平成 30 年度関東地区学会第 3 回研究会
学生主導による表現活動を中心とした授業構成の事例Ⅱ—領域表現(音楽・身体・造形)と関連付けて—	2020. 3	日本保育者養成教育学会 第4回研究大会
保育現場でのピアノの活用—保育内容(表現)の視点から—	2020. 3	日本保育者養成教育学会 第4回研究大会
保育者養成校における領域「表現」の遠隔授業の取り組み —ピアノと造形関連の実技系授業の事例—	2021・3	日本保育者養成教育学会 第5回研究大会
幼児教育・保育の現場で活用できる総合的な表現活動のプログラムの開発に向けて —授業実践と保育者を対象とするアンケートを通して—	2021・3	日本保育者養成教育学会 第5回研究大会
保育実践力の向上を目指した授業「保育表現技術」の実践 —実習前後の発表会の成果を比較して—	2021・3	日本児童学会令和2年度研究集会
日本における幼少年期の芸術表現遊び・教育の実態調査	2023・2	2022 年度 仙台白百合女子大学人間発達研究センター研究会
保育者、教員養成課程におけるハープを用いた音楽活動の実践	2024.3	日本児童学会令和5年度 研究集会

Ⅱ 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
全国大学音楽教育学会	全国大会実行委員(2011 年度) 東北地区学会研究大会事務局(2013 年度) 第 34 回全国大会実行委員(2017、2018 年度)	2008. 5
日本ピアノ教育連盟	東北支部選挙管理委員(2017 年度) 東北支部運営委員(2018 年度～)	2008. 5
日本音楽教育学会		2014. 5
日本保育者養成教育学会		2018. 11
日本児童学会		2020. 2

Ⅲ 研究費の助成を受けた研究(過去 5 年間)

助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)
仙台白百合女子大学 人間発達研究センター	2018年度		インクルーシブ保育における保育教材の研究-特別な配慮が必要な子どもの遊びの場面から- インクルーシブ保育における保育教材の研究-特別な配慮が必要な子どもの遊びの場面から- インクルーシブ保育における保育教材の研究-特別な配慮が必要な子どもの遊びの場面から- 子どもを対象とする芸術表現遊び・教育プログラムの開発	50,932
	2019年度			235,000
	2020年度			219,000
	2022年度			230,000
(公財)日本教育公務員弘済会	2020年度	教育振興事業助成金	保育・幼児教育の現場で活用できる総合的な表現活動のプログラムの開発及びそのデータベースの作成	650,000
(公財)仙台市市民文化事業団	2023年度	公演・展示活動助成(活動助成)	4人のピアニストによるプレゼンコンサート	80,000

3. 特記事項

全国保育士養成協議会 保育士資格試験 宮城県保育士試験(実技・音楽) 審査員(2011年度、2012年度、2014年度、2015、2016年度、2017年度、2018、2019年度、2020、2021、2022、2023年度)

日本ピアノ教育連盟第36回 JPTAピアノ・オーディション東北地区予選 JII部門審査員(2019年)

日本ピアノ教育連盟東北支部主催「JPTA 東北 ピアノ・オーディション～動画でチャレンジ～」幼児・JI・A・C・E部門審査員(2020年)

仙台白百合女子大学 2020年度教職員合同研修会において「遠隔授業の取組事例」としてピアノ実技授業の事例を報告した。

日本ピアノ教育連盟第38回 JPTAピアノ・オーディション東北地区大会 D・E部門審査副主任(2021年)

日本ピアノ教育連盟東北支部主催「仙台国際音楽コンクールピアノ部門審査副委員長 海老彰子氏による《演奏とお話の会》」のナビゲーターを務める(2022年)

日本ピアノ教育連盟第39回 JPTAピアノ・オーディション東北地区大会幼児・JI部門審査主任(2022年)

日本ピアノ教育連盟第40回 JPTAピアノ・オーディション東北地区大会 J2部門審査副主任(2023年)

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ 氏 名	チョン ボンジン 千 凡 晋	職 名 人間学部	准教授 子ども教育学科	取 得 学 位 (大学名) 東京学芸大学	教育学博士 (取得年月) 2013 年 3 月
-------------	-------------------	-------------	----------------	-------------------------	----------------------------

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月 (西暦)	概 要
【教育内容・方法の工夫】 ①児童文化財「人形劇」に関する理解・実践力の向上&地域貢献活動としての実践	2021年4月 ～現在	「子ども発達総合演習Ⅱ」「子ども発達総合演習Ⅲ」「子ども発達総合演習Ⅳ」では学生の共同製作・実践活動として人形劇の構想・製作・出前公演を実施している。当授業では児童文化財としての人形劇の理解を深め、学生間のアクティブラーニングを通してやりたい人形劇を構想し、台本作成、人形の製作、BGM や人形劇の背景など、人形劇を実施する上で必要なすべてを手作りするように指導している。人形劇を近隣の保育・教育施設に出向き、子どもの前で公演する活動を取り入れていることで、学びの成果を通して保育実践力の向上、地域貢献活動の実践を図っている。
②児童文化財「手作り絵本」に関する理解・実践力の向上	2019年4月 ～現在	「子ども発達総合演習Ⅲ」「子ども発達総合演習Ⅳ」では学生の個人の制作活動として手作り絵本の制作を行い、絵本展示会を開いている。学生が作りたい絵本の内容、ねらいを立てた上で、様々な材料の特性を活かして製作できるように指導している。また、大学の図書館と連携をし、図書館のロビーで絵本展示会を開催しているが、学生自らが展示会の計画から準備、実践することを経験することができるように、指導、支援を行っている。
③アクティブラーニングによる学び合いの実践	2018年4月 ～現在	幼稚園教諭免許資格取得に関わる「保育内容 (表現 (造形))」と小学校教員免許資格に関わる「初等教育教科法 (図画工作)」では、乳幼児から小学生まで、子ど

<p>④ICT の活用を通じた学習効果の向上と学びの成果の共有</p>	<p>2018年4月 ～現在</p>	<p>もの造形表現を支援・指導するために必要な理論且つ実践的学びを行った。現行の保育所保育指針・幼稚園教育要領・学習指導要領に基づき、造形活動の目標と内容の理解を図りながら、子どもの発達特性を考慮し、子どもの造形活動を援助するための支援や指導法を身に付ける。両授業では、学生主体のアクティブラーニングを用い、個別発表やグループワークによる成果物「保育・教育現場で活用できる造形活動のアイデア集」と「図画工作教科書分析シート集」とを作成し、学生全員に配布した。授業の後半にて各自がテーマを決めて模擬保育・模擬授業を行うことで実践力の向上を図った。</p> <p>「子どもと造形 A」と「子どもと造形 B」とで、学生全員は製作した作品を用いて、各自のポートフォリオ (B4～A3判のファイル) の作成を手掛けている。「BAND」というアプリケーションを取り入れ、各授業で製作した作品を載せるようにすることで、学生同士で自由に且つ気軽に鑑賞できるように心かけた。特に子どもと造形 Aにて、作った作品を用いた動画作成も行わず、ICTの活用も取り入れている。また、ポートフォリオを作成する上で、製作した各作品に対する解説書(技法名、製作の手順、支援・指導上の類似点、異年齢児や他のテーマに応用できる活動)をまとめることで、体験した造形活動に対する学びの成果を深めた。15回目の授業では学生のポートフォリオの鑑賞会を通して振り返りの時間を設け、学生同士の学び合いを図っている。</p>
<p>⑤学びの成果を用いた地域貢献</p>	<p>2018年4月 ～現在</p>	<p>「子どもと造形 A」ではグループワークにより段ボール箱を用いた遊具の製作に取り組んでいる。製作された遊具は毎年近所の保育・教育現場に寄贈している。寄贈しに行く際には製作にかかわった1年生の中、希望者を連れていき、子どもとの交流を図っている。学びの成果を子どもに還元することにより学生に自分らの学びの成果を地域貢献に活かせることを意識させる同時に、保育者養成課程と保育・教育現場との連携も充実させている。</p>

<p>⑥SDGs と関連付けた実践力の向上と保育現場との連携</p> <p>⑦学生主導による総合的な表現力の向上</p> <p>⑧造形表現プログラムの考案と発信方法の工夫</p> <p>【教育方法・教育実践に関する発表・講演】</p> <p>①個人研究による成果発表</p>	<p>2018年4月 ～現在</p> <p>2020年4月～ 現在</p> <p>2019年～ 現在に至る</p>	<p>「子ども発達総合演習Ⅰ」では学生主導のアクティブラーニングを用い、食育やSDGs と造形活動を関連付けた実践テーマの設定、実践案の構想、事前準備を行い、近隣の協力園で実践を行っている。実践後の振り返りを行い、保育者としての実践力の向上を図っている。自らが構想した実践案を保育現場で実践することに対する学生の満足度と保育所からの評価が高い。</p> <p>身体・音楽・造形担当の教員により実施している。学生の総合的な表現力の向上を目指し、学生主体により発表会を開催することを主な内容・方法としている。2019年度からは観客として近隣の保育所の子どもをお呼びし、実施した。発表会を準備した学生はもちろん観客として参加した子ども、保育所関係者からも好評で会った。その授業での成果を研究発表、論文などを通してまとめている。2020年度はコロナ禍の状況を踏まえ、総合的な表現力を高めるために、学生主体のプログラムの作成とその実践を行った。</p> <p>人間発達センター研究助成により「家庭で親子が楽しめる造形表現・遊びの教材・プログラムの開発」をテーマに研究を実施した。その成果を「子ども発達総合演習Ⅰ～Ⅳ」にて学生指導に結び付けて実践している。2021年からは学生と一緒に構想・考案した造形表現活動プログラムを子ども、保護者、保育者向けに発信することを目的に YOUTUBE「造形遊びの遊び」を開設・運営し、関連コンテンツをアップデートしている。また、そのプログラムをまとめて紙面上の冊子を製作している。</p> <p>子どもの造形活動を支援・指導することに関わる教育実践（領域・指導法）をまとめ、関連学会における口頭発表と研究ノート、研究論文として投稿を行っている。（その詳細は業績に記載）</p>
---	---	--

②共同研究の成果発表	2019年～ 現在に至る	同学科の教員と共同研究を取り組み、音楽・身体・造形を合わせた総合的な表現活動の授業実践における研究発表と論文投稿を行った。また、同研究メンバーで外部の研究助成金（公益財団法人日本教育公務員弘済会奨励金）を受け、研究を実施した。その成果を学会で発表した。現在、その成果を論文として執筆中である。
③保育者を対象とする研修	2019年～ 現在に至る	上記の「④保育実践力の向上と保育現場との連携」に関連して協力している園の要望でその保育園の職員研修にて、保育所で実践できる造形活動に関する研修を年に1-2回程度実施している。また、2022年度は「宮城県子ども総合センター」の依頼で、県の幼児・児童関連の施設の職員を対象とする児童文化財の研修を担当した。
⑨4年制大学における韓国語教育の「Cultural Intelligence」としての意義とその取り組み	2022年6月	4年制大学における韓国語講座の意義、実践方法について駐仙台韓国教育院が開催しているシンポジウムにて発表を行った。当発表をまとめて、本学の紀要第28号に掲載した。

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月（西暦）	発行所、発表雑誌 （巻・号数）等の名称	共著者名 （共著の場合）	編者名と当該執筆 者数（編著の場合）	該当頁数
【学位論文】						
1. 初等学校における絵による心理診断事例研究	単著	2001. 11	高麗大学教育大学院美術教育専攻修士論文（修士学位論文）			A4版（99頁）
2. 日本と韓国における「学習指導要領」の変遷に関する比較研究－小学校「美術科」を中心に－	単著	2006. 3	東京学芸大学大学院教育学研究科美術教育専攻美術科教育コース修士論文（修士学位論文）			A4版（71頁）
3. 「韓国の初等教育における第1次教育課程『美術科』に関する研究－図画・工作・書の教育	単著	2013. 3	東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科芸術系教育			A4版（415頁）

に関する日韓比較を中心にー」			講座修了論文（博士学位論文）			
【論文】						
1. H. ガードナーのMI理論のアジアにおける受容と展開ー中国、韓国、フィリピンの比較分析（査読付き）	共著	2012.2	東京学芸大学紀要 総合教育科学系 I 第63集	渋谷英章、他	渋谷英章他（6名）	76～78、80～82
2. 韓国と日本との学習指導要領の比較からみた「毛筆による文字教育」（査読付き）	単著	2012.3	美術科教育学会『美術教育学』第33号			301～314
3. 神様の導き	単著	2020.3	仙台白百合女子大学カトリック研究所『論集』第24号			115～123
4. 保育実践力の育成を目指す授業内容・方法の研究ー食育と造形表現活動とを結び付けた実践を通してー（査読付き）	単著	2020.9	人間発達研究センター紀要『人間の発達』第14号			53～65
5. アクティブラーニングを中心とした「保育表現技術」の授業実践の事例Ⅰー身体・音楽・造形の総合的な表現活動を通じた保育実践力の育成を目指してー（査読付き）	共著	2020.9	人間発達研究センター紀要『人間の発達』第14号	仁藤喜久子、他	仁藤喜久子、他（3名）	39～51
6. 自然環境を活かした遊びから芽生える子どもの自発的且つ自主的な造形表現・遊びの可能性ー山形県天童東幼稚園での事例を通してー（査読付き）	共著	2021.9	人間発達研究センター紀要『人間の発達』第15号	伊藤清華、千凡晋		37～45
7. 小学校教員養成における図画工作科の教材・指導法の研究Ⅰー粘土類を用いた授業実例を通してー（査読付き）	単著	2022.3	大学美術教育学会『美術教育学研究』第54号			193～200
8. 共働き世帯の親子で取り組む造形表現・遊び	単著	2023・3	大学美術教育学会『美術教育学研究』第55号			209-216

<p>の活動の効果—活動前後のアンケート調査を通して—（査読付き）</p>						
<p>9. 幼小接続期における教育課程の日韓比較研究Ⅰ—領域「表現」・「芸術経験」を中心に—（査読付き）</p>	共著	2024. 3	『仙台白百合女子大学教職課程研究センター報』第3号		千凡晋・四家昌博	3～10
<p>【研究ノート】 1. 幼稚園・小学校における曼荼羅（マンダラ）模様を用いた自然物による造形遊び・表現の可能性</p>	単著	2020. 3	全国大学造形美術教育教員養成協議会『大学造形美術教育研究』18号			44～47
<p>2. 小学校教員養成における図画工作科の教材・指導法の研究の試み—紙粘土と情報機器（カメラ）を用いた授業事例を通して</p>	単著	2021. 3	全国大学造形美術教育教員養成協議会『大学造形美術教育研究』19号	四家昌博、他	四家昌博、他（3名）	46～49
<p>3. 4年制大学における第2外国語（韓国語）教育の意義—韓国語の学習意欲の向上を目指した授業実践を通して（査読付き）</p>	単著	2024. 3	仙台白百合女子大学『紀要』第28号			51～68
<p>【研究報告】 アクティブラーニングを中心とした「保育表現技術」の授業実践の事例Ⅱ—領域（表現）・保育内容（表現）と関連付けて—（査読付き）</p>	共著	2020. 10	日本児童学会『児童研究』第99巻	四家昌博、千凡晋		48～58
<p>【実践報告】</p>						

1. 保育所における食育と関連付けた領域（表現） の実践－魚をテーマとした造形活動を中心に－	単著	2020. 3	全国大学造形美術教育教員養成協議会『大学造形美術教育研究』18号			48～51
2. 絵本を用いた国際理解の試み－講演会「ようこそ！韓国絵本の世界へ」を通して－	単著	2022. 2	『仙台白百合女子大学教職課程研究センター報』第1号			89～94
3. 幼稚園教育実習指導の実践－模擬保育を通じた学生の学び－	共著	2022. 2	『仙台白百合女子大学教職課程研究センター報』第1号	四家昌博・千凡晋		23～30
4. 幼稚園教育実習指導の実践Ⅱ－実習を通じた学生の学び－	共著	2023. 2	『仙台白百合女子大学教職課程研究センター報』第2号	千凡晋・四家昌博		13～18
5. 手作り人形劇を通じた保育実践力の育成と地域貢献活動としての可能性	単著	2024. 3	全国大学造形美術教育教員養成協議会『大学造形美術教育研究』22号 pp.			30～33
【その他(資料集)】						
1. 四季を楽しむ創造的な表現活動・遊びの資料集	共著	2021. 3	日本教育公務員弘済会「令和2年度日教弘奨励金助成研究」資料集			A4版(45頁)
2. 学生の学びの成果を生かした地域貢献の可能性－手作り段ボール遊具による地域の子どもの触れ合いを通して－	単著	2021・4	仙台白百合女子大学『東日本大震災の記憶』			A4版(7頁)
3. わが家族の2011年3月11日から15日を語る	共著	2021. 11	全国大学造形美術教育教員養成協議会『全美協メールマガジン』第43号			115～116

4. 親子で一緒に楽しめる造形表現・遊び	単著	2022. 2	「人間発達研究センター助成研究」成果資料集			A4 版 (28 頁)
5. 絵本『2 人の天使にあったボク』	共著	2024. 3	リーブル出版社			21.5 × 26.5 × 0.7 (32 頁)

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月 (西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数 (監訳書の場合)	該当頁数
なし						

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月 (西暦)	発表場所
1. 韓国と日本の毛筆による文字教育の比較研究－学習指導要領を中心に－	2008. 8	第 32 回 InSEA (国際美術教育学会) 世界大会 in 大阪 (単独・口頭発表)
2. 小学校美術科教科書の比較研究－韓国の第 1 次教育課程期のもとの日本の昭和 26 年版学習指導要領期のものであることを中心として－	2011. 9	日本教育大学協会全国美術部門協議会第 50 回大学美術教育学会宮城大会 (単独・ポスター発表)
3. 韓国の初等教育に於ける第 1 次教育課程「美術科」に関する研究－教科目標における韓・日・米の比較を中心に－	2013. 3	第 35 回美術科教育学会島根大会 (単独・口頭発表)
4. Effects of the artistic activities on mental and physical health in the elderly: Preliminary survey report (口頭発表)	2017. 6	第 4 回人間脳科学セミナー (単独・口頭発表)
5. Effects of the Artistic Activities on Mental and Physical Health		

in the Elderly	2018. 8	韓国心理学会第 72 回学術大会 (共同・ポスター発表)
6. 芸術活動が高齢者の心身健康に及ぼす影響に関する調査	2018. 9	日本心理学科第 82 回大会 (共同・ポスター発表)
7. 学生主導による表現活動の中心とした授業構成の事例	2019. 2	日本保育者養成教育学会第 3 回研究大会(共同・口頭発表)
8. 学生主導による表現活動を中心とした授業構成の事例Ⅱー領域表現(音楽・身体・造形)と関連付けてー	2020. 2	日本保育者養成教育学会第 4 回研究大会(共同・口頭発表)
9. 保育者養成課程における保育内容(表現)の授業実践に関する一考察ー造形表現における学生の自主的な学びを目指してー	2020. 2	日本保育者養成教育学会第 4 回研究大会(共同・口頭発表)
10. 自然との関わりから芽生える自発的な表現活動の可能性ー自然素材(土粘土)を用いた造形活動を中心にー	2020. 11	日本自然保育学会第 5 回大会(共同・口頭発表)
11. 保育者養成校における領域「表現」の遠隔授業の取り組みーピアノと造形関連の実技系授業の事例ー	2021. 3	日本保育者養成教育学会第 5 回研究大会(共同・口頭発表)
12. 幼児教育・保育の現場で活用できる総合的な表現活動のプログラムの開発に向けてー授業実践と保育者と対象とするアンケートを通してー	2021. 3	日本保育者養成教育学会第 5 回研究大会(共同・口頭発表)
13. 保育実践力の向上を目指した授業「保育表現技術」の実践ー実習前後の発表会の成果を比較してー	2021. 3	日本児童学会令和 2 年度研究集会(共同・口頭発表)
14. 親子で行う造形表現・遊びがもたらす効果についてー活動前後のアンケート調査を通してー	2021. 3	日本児童学会令和 2 年度研究集会(単独・口頭発表)

<p>15. 4年制大学における第2外国語（韓国語）教育の意義 -韓国語の学習意欲の向上を目指した授業実践を通して-</p>	<p>2022. 9</p>	<p>2022 日本東北地域韓国語教育者シンポジウム(4名・口頭発表) 資料集(pp. 76-111)</p>
<p>16. 保育者養成課程におけるESDの実践Ⅰ—SDGsと造形活動を結び付けた実践を通して—</p>	<p>2023. 3</p>	<p>日本保育者養成教育学会第7回研究大会(単独・口頭発表)</p>
<p>17. 保育者養成課程におけるESDの試みⅡ—SDGsと造形活動を結び付けた実践を通して—</p>	<p>2024. 3</p>	<p>日本保育者養成教育学会第8回研究大会(単独・口頭発表)</p>
<p>[作品出品]</p>		
<p>1. 「꽃이 피다 (花が咲く)」の他、7点</p>	<p>2009. 12. 1～6</p>	<p>異心圓 Vol. 2-1 ※アートホール招待展 ※日韓交流基金の助成により開催</p>
<p>2. 「隠れん坊」Ⅱ-2</p>	<p>2015. 10. 21～27</p>	<p>「日韓国交正常化 50周年記念」2015 日韓美術交流展 in 仙台 (駐仙台大韓民国総領事館) ※大韓民国外交部支援助成により開催</p>
<p>3. 「숨바꼭질; 꼭 꼭 숨어라 (隠れん坊)」Ⅲ</p>	<p>2016. 9. 9～15</p>	<p>「韓日国交正常化 50周年記念」2016 韓日美術交流展 in 全州— 疎通— (全北芸術会館) ※全羅北道文化観光財団・(公財) 未来の東北博覧会記念国際交流基金の助成により開催</p>
<p>4. 「숨바꼭질; 꼭 꼭 숨어라 (隠れん坊)」Ⅳ</p>	<p>2018. 1. 17～23</p>	<p>Good works good life 展 (韓国・ギャラリーSUN)</p>
	<p>2019. 2. 12～24</p>	<p>short short piece—仙台アーティストランプレイス小品展— (ギャラリーSARP)</p>

5. 「アイ (愛・I・子ども)」 の他、6 点	2019. 6. 18～23	取っ替ゑ、引っ替ゑ、すり替ゑ展 (ギャラリーSARP)
6. 「No title」 の他、8 点	2020. 10. 15～ 12. 9	「2020 韓一日交流展 in 全州」 - Across and Connect Endless- (ギャラリーSeohak) ※韓国国民体育振興基金の「2020 年展示空間活性化支援事業」の助成により開催
7. 「隠れん坊 2020: 'UTC+9」 の他、3 点		
8. 「隠れん坊 2021: 'UTC+9」 光」 の他、2 点	2021. 11. 27～ 12. 2	2021 年日韓美術交流展 in Sendai-TRUST- (東京エレクトロンホール) ※大韓国外交部支援助成により開催
9. 「Blessing」	2022. 3. 8～13	取っ替ゑ、引っ替ゑ、すり替ゑ展Ⅷ ((ギャラリーSARP) ※ウクライナ支援チャリティー展示

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月 (西暦)
社団法人日本美術教育連合		(2006 年～2008 年)
美術科教育学会		(2006～2015 年)
大学美術教育学会		(2008～現在)
日本臨床美術学会		(2013～2022 年)
日本心理学会		(2018～2022 年)
日本保育者養成教育学科		(2018～現在)
全国大学造形美術教育教員養成協議会		(2019～現在)
日本老年社会科学会		(2019～現在)

Ⅲ 研究費の助成を受けた研究（過去5年間）				
助成機関名	助成を受けた年度 （西暦）	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 （円）
公益財団法人 日本教育公務員弘済会	2020	日教弘本部奨励金	乳幼児教育の現場で活用できる総合的な活動のプログラムの開発及びそのデータベースの作成	650,000円
人間発達センター	2020	研究助成	家庭で親子が楽しめる造形表現・遊びの教材・プログラムの開発	192,000円
	2021	研究助成	家庭で親子が楽しめる造形表現・遊びの教材・プログラムの開発（継続）	128,800円
	2022	研究助成	日本における幼少年期の芸術表現遊び・教育の実態調査+	188,900円
全国保育士養成協議会東北ブロック	2023	研究助成	保育者養成課程におけるESDの試み—SDGsと造形活動を結び付けた実践を通して—	100,000円

3. 特記事項

<p>（非常勤講師）</p> <ol style="list-style-type: none"> 東北学院大学非常勤講師（2015.4～2017.3） 東北学院大学非常勤講師（2020.4～現在） 東北福祉大学非常勤講師（2017.9～2018.3） 韓国教育院主催・子ども韓国語教室「ハングル学校宮城」非常勤講師（2015.4～2017.3） 東北福祉大学【アジア共同体に向けて】非常勤講師（2019.11.27 / 2020.12.9 / 2021.11.24） 東北福祉大学【ユーラシア共同体に向けて】非常勤講師（2023.12.13/2022.12.7/2021.11.24/2020.12.5） <p>（講演会・研修会）</p> <ol style="list-style-type: none"> 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師（2015.5） 宮城県警察学校専科韓国語講座（2015.6） 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師（2016.2） 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師（2017.10） 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師（2018.8） 東北管区警察本部（2018.8） 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師（2019.2） 台湾・高雄国立大学【亞洲共同體專題講】での講演：「座亞洲各國高齡人口問題和发展藝術活動之可能性」（2019.10）

9. 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師 (2020. 1/2)
10. 明石南子どもの城保育園の職員研修 (2020. 11)
11. 台湾・高雄国立大学【亞洲共同體專題講】での講演：「座亞洲各國高齡人口問題和發展藝術活動之可能性」(2020. 11. 25)
12. 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師 (2021. 1/2)
13. 明石南子どもの城保育園の職員研修 (2回) (2021. 1/2021. 9)
14. 「ようこそ！韓国絵本の世界へ」講演会/企画及び司会・進行(2021. 6/7/8/9/12/12) (主催：駐仙台大韓民国総領事館・仙台白百合女子大学)
15. 明石南子どもの城保育園の職員研修 (2022. 1)
16. 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師 (2022. 1/2)
17. 2022 日本東北地域韓国語教育者シンポジウムでの講演：「4年制大学における第2外国語(韓国語)教育の意義-韓国語の学習意欲の向上を目指した授業実践を通して」(2022. 9. 17)
18. 令和4年度児童文化普及事業「児童文化講座」(主催：宮城県子ども総合センター)の講師(2022. 10. 7:まなウエルみやぎ1・2研修室/ 10. 21:まほろばホール大会議室)
19. 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師 (2023. 2)
20. 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師 (2024. 2)

(公的文の翻訳)

- 宮城県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2016. 12)
青森県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2017. 8)
宮城県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2017. 12)
宮城県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2018. 3)
宮城県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2018. 12)
宮城県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2019. 12)
宮城県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2020. 2)
宮城県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2021. 3)

(研究関連)

1. 東北大学加齢医学研究所研究員 (2017. 4~2018. 3) / 現在、分野研究員

研究テーマ：「芸術活動が高齢者の心身研究に及ぼす影響」、現在進行中。

2. 東北地域の韓国学のための研究メンバー (2018. 11～2020. 3)

- ・研究テーマ：日本東北地域内韓国学の基盤造成：災害と在日韓国人を中心に
- ・研究メンバー：東北大学を基盤施設とし、東北内の三つの大学の教員が研究メンバーとして参加
- ・韓国学振振興事業研究助成金「海外韓国学種型事業」の助成金の選定

(研究助成による研究)

1. 【日教弘本部奨励金 (公益財団法人 日本教育公務員弘済会)】

研究テーマ：「乳幼児教育の現場で活用できる総合的な活動のプログラムの開発及びそのデータベースの作成」(共同研究)

研究メンバー：四家昌博・千凡晋・仁藤喜久子・大木葉子

2. 【人間発達センター研究助成】

- 1) 研究テーマ：「家庭で親子が楽しめる造形表現・遊びの教材・プログラムの開発—共働きの家族を対象に—」(単独研究) (2020)
- 2) 研究テーマ：「家庭で親子が楽しめる造形表現・遊びの教材・プログラムの開発—学生指導と ICT を活用した情報発信の可能性を探って—」(単独研究) (2021)
- 3) 研究テーマ：「子どもを対象とする芸術表現遊び・教育プログラムの開発」—日本における幼少年期の芸術表現遊び・教育の実態調査+— (共同研究) (2022)

3. 【全国保育士養成協議会東北ブロック 研究助成】(単独研究) (2023)

研究テーマ：保育者養成課程における ESD の試み—SDGs と造形活動を結び付けた実践を通して—

(国際交流)

1. 『『日本国交正常化 50 周年記念』2015 年日韓美術交流展 in 仙台』(駐仙台大韓民国総領事館助成事業選定)の企画・運営 (2015. 9)
2. 『『日本国交正常化 50 周年記念』2016 年日韓美術交流展 in 全州』(全羅北道文化観光財団・(公財) 未来の東北博覧会記念国際交流基金の助成)の企画・運営 (2016. 10)
3. 国際交流センター：本学と国際流をしている韓国大学との協定・韓国短期留学(誠信女子大学)のサポート (2019. 3. 3～6)
4. 2019 年 ASEACCU 参加(韓国・Sogang Univ. 2019. 9. 20～23)
5. 人間発達学科と誠信女子大学幼児教育科との交流の企画・窓口・実行 (2019. 3～現在)
6. 人間発達学科の海外教育・保育現場体験研修の企画・実行 (2020. 9 月に予定していたが、Covid19 により 2023 年度に延期)
7. 韓日交流展示会「韓日交流展—交叉と連結」(韓国文化芸術連合会展示支援事業選定) / 日本側作家代表及びシンポジウム企画、運営 (2020. 10. 15～12. 9)
8. 日韓交流展示会「2021 年日韓美術交流展」(駐仙台大韓民国総領事館助成事業選定) / 展示会の企画・運営及び実行委員会の代表 (2021 年 11 月 27 日～12 月 2 日東京エレクトロンホールでの開催)
10. 「ようこそ！韓国絵本の世界へ」講演会 (6 月 12 日/7 月 10 日/8 月 7 日/9 月 11 日/12 月 4 日/12 月/18 日)
(主催：駐仙台大韓民国総領事館・仙台白百合女子大学)
11. ボランティア団体「東北日韓友好交流連合会」の創立メンバー(顧問) (2022. 4～2023. 3)

(地域貢献)

1. 授業で製作した段ボール遊具を保育所「明石南子どもの城」に寄付 (2019. 1. 29)
2. 「泉マルシェ 2019」に参加し、本学のブースに訪問した子どもたちにフェイス・ペインティングを行う。(2019. 9. 14)
3. 授業で製作した段ボール遊具を認定子ども園「とみや杜の橋子ども園」に寄贈 (2019. 12. 19)
4. 授業で製作した段ボール遊具を「明石南子どもの城」「桂子どもの城」に寄贈 (2020. 2. 9)
5. 子どもを対象として手作り人形劇の実演「明石南子どもの城」(2021. 11. 18) / 「桂子どもの城」(2021. 12. 16)
6. 授業で製作した段ボール遊具を「アルシュ富谷子ども園」に寄贈 (2022. 5. 16)
7. 授業で製作した段ボール遊具を「泉チェリー第2認定こども園」に寄贈 (2022. 12. 15)
8. 子どもを対象として手作り人形劇の実演: 「森のプーさん保育園」(2022. 9. 28) / 「明石南子どもの城子ども園」(2022. 10. 12) / 「泉第2チェリー子ども園」(2022. 10. 19) / 「鶴ヶ丘マミー子ども園」(2022. 11. 2)
9. 授業で製作した段ボール遊具を「明石南子どもの城」に寄贈 (2023. 12. 14)
10. 子ども・近隣の住民を対象として手作り人形劇の実演: 「泉第2チェリー子ども園」(2023. 7. 21) / 「児童館フェスタ」(2023. 7. 22) / 白百合祭 (2023. 10. 21) / 「白百合ミニコンサート」(2023. 10. 26) / 「鶴ヶ丘児童館」(2023. 11. 2) / 「森のプーさん保育園」(2023. 12. 7) / 「明石南子どもの城こども園」(2023. 12. 14) / 「桂こどもの城こども園」(2024. 1. 12) / 「仙台白百合学園幼稚園」(2024. 1. 19) / 「ゆりっこひろば」(2024/1/26)
11. 石巻市日和幼稚園遺族会依頼により仙台白百合女子大学絵本制作プロジェクトチームを結成し、絵本『2人の天使にあったボク』(リーブル出版社、2024. 3 発行) を制作。

(その他)

1. (学科横断ゼミ構想) 2021 年度「SPAC ゼミ」の学内協力メンバー (代表: 菅原詩緒理先生)
2. (FD 研修) 仙台白百合女子大学 2020 年度教職員合同研修会において「遠隔授業の取組事例」として造形実技授業の事例を報告。
3. 宮城県大学における韓国人教員グループが結成され、メンバーとして活動 (2023. 6~現在)

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ ヤギ タカノ 氏 名 八木 孝憲	職 名 准教授 人間学部 子ども教育学科	取得学位 修士(臨床心理学) (大学名)山梨英和大学大学院 (取得年月) 2008年 3月
--------------------------	-------------------------	--

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
【講義】 グループ学習の推進と自己理解促進	2018年～	グループエンカウンターや人間関係づくりトレーニングの実施により、コミュニケーション能力の向上を図り、また学生の自己理解を深めるために、集団葛藤場面を想定したコンセンサス実習を行っている。上記のようなグループ学習を通して、受容と共感を基礎とした対人関係の確立及び自己・他者を理解する姿勢を学ぶ。
【ゼミナール】 クリティカル・シンキング能力の獲得に向けた学習	2018年～	問題意識を明確にし、他者に配慮でき良好な対人関係を維持していくことをベースとして、自身の推論過程を意識的に吟味する再帰的な思考を求めている。また、吟味する際には適切な基準や根拠に基づき、論理的で偏りのない思考を行い、問題提起及び課題解決に積極的に関与しうる卒業研究を推進している。
【学外学習】 さまざまな地域活動への参画	2018年～	子どもを対象とした地域のイベント等にボランティアとして企画・参加し、学生の自主性をもとに地域課題への貢献と積極的な取り組みを推進している。
【表彰等】 授業評価監査役表彰	2018年	授業評価において監査役表彰を受けた(福島学院大学)。

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
・里親が経験する喪失についての調査	共	2023年10月	公益財団法人前川財団 家庭・地域教育助成報告書	井出智博, 鬼塚淳子, 上野永子, 大平明人		
・子ども里山自然保育活動推進報告書	共	2023年3月	子ども里山・自然保育活動推進検討会	検討会委員		
・幼児期を対象とした「いのちの教育」の実践—指導案と模擬保育を通した生命観の変容—	単	2023年3月	仙台白百合女子大学教職課程研究センター報 第2号(1)			33—40
・希望ある里親養育に向けた「未来語りの対話」ケアモデルの導入	共	2022年7月	公益財団法人前川財団 家庭・地域研究助成 報告書	鬼塚淳子		
・教育相談におけるセルフアセスメントの重要性 —絵本セラピーワークの実践による自己理解・相互理解の体験過程—	単	2022年2月	仙台白百合女子大学教職課程研究センター報 第1号(1)			19—22
・里親が“親”になる過程と里父と里母の役割についての質的研究	共	2021年7月	公益財団法人前川財団 2020年度 家庭・地域教育助成(報告書)	井出 智博		
・子どもの心身を育む自然体験活動	単	2021年3月	福島学院大学 教育・保育論集(第24号)			60—65
・社会的養護におけるグリーンケアの実態と展望—	単	2021年2月	福島学院大学附属心理臨床			31—33

全国児童養護施設への質問紙調査—			相談センター紀要(第14号)			14-21
・保護者支援におけるレジリエンスとユーモアスタイルの効果検証	単	2020年12月	福島学院大学研究紀要第59集			32-41
・児童虐待リスク要因の経済的側面に関する一考察—マクロ計量モデル:尾崎(2019)と厚労省国民生活基盤調査の結果からの分析—	単	2020年3月	福島学院大学研究紀要第58集			70-73
・保育者の「言葉かけ」を再考する	単	2020年3月	福島学院大学 教育・保育論集(第23号)			24-36
・自然体験活動を取り入れた保育の実態と効果—青年期への影響に着目して—	共	2019年11月	自然保育学研究 2(1)	井出 智博		50-52
・私の研究「児童養護施設で暮らす子どもたち」	単	2019年10月	福島の進路(446)			51-63
・異年齢保育の実践がこどもの発達および社会性に与える影響—保育者・保護者・地域住民による自由記述の質的分析—	単	2019年3月	福島学院大学研究紀要第56集			43-48
・家族的無意識と世代間伝達—個人と家族を支える臨床のいち視点—	単	2019年1月	福島学院大学大学院附属心理臨床相談センター紀要(第12号)			29-41
・乳幼児療育の現況と課題に関する調査研究—事業所職員と保護者への質問紙調査から—	単	2018年8月	発達障害支援システム学研究 17(1)			61-63
・陸前高田市適応支援教室「ジャンプスクール」の現状と課題	共	2018年3月	陸前高田グローバルキャンパス大学シンポジウム 2018:要旨集	菅野みゆき 吉家秀明		

翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数
学術研究発表						
発表テーマ			発表年月(西暦)	発表場所		
<ul style="list-style-type: none"> ・認知機能から見る中高齢期の wellbeing ・里親が経験する喪失の類型化とその影響について—disenfranchised grief に焦点を当てて— ・保育者養成校学生の野外活動経験と虫(生物)嫌悪—自尊感情・自然に対する感情反応との関連から— ・成人期・高齢期における発達の最適化と Well-being—発達、社会、臨床的知見による理解と支援— ・自然保育・里山教育の実践者養成に関する研究 ・希望ある里親養育に向けた「未来語りの対話」ケアモデルの導入 ・幼児期における「いのちの教育」の実践に関する—考察 ・幼児期の発達過程における「嘘」の位置づけ—保育者の認識と関わりの側面から— ・子ども里山・自然保育活動推進の取り組み—ふくしま子ども里山教育・自然保育認証制度に向けて— ・幼児期の発達段階における他者との関係性や社会性に関する研究—幼児期における「嘘」に関する養成校学生の認識— 			<ul style="list-style-type: none"> 2024年3月 2023年11月 2023年11月 2023年3月 2023年2月 2022年12月 2022年10月 2022年4月 2022年2月 2022年2月 	<ul style="list-style-type: none"> 日本発達心理学会第35回大会 自主シンポジウム 日本子ども虐待防止学会第29回学術集会 日本自然保育学会第8回大会 日本発達心理学会第34回大会 自主シンポジウム 2022年度人間発達研究センター研究会 日本福祉心理学会第20回大会 日本幼児教育学会第30回大会 全国保育士養成協議会東北ブロック2022年度第1回総会 日本自然保育学会第6回大会 仙台白百合女子大学人間発達研究センター第2回研究会 		

・ある養育里親が養育里親になるまでのプロセス—TEMを用いた養育里親になることをめぐる心理的変化についての理解—	2021年12月	日本福祉心理学会第19回大会
・保育者養成校における絵本セラピーワークの実践 —教育相談(保育相談)でのアセスメントとの関連から—	2021年10月	日本幼児教育学会第29回大会
・自然保育の現在と未来—養成校と実践園の取り組みから—	2020年11月	日本自然保育学会第5回大会
・福島子どもたちと自然保育の未来—実践者の声から—	2020年11月	日本自然保育学会第5回大会
・児童養護施設におけるグリーフケアの実態とその必要性	2019年11月	日本福祉心理学会第17回大会
・陸前高田市適応支援教室「ジャンプスクール」の現状と課題	2018年3月	陸前高田グローバルキャンパス大学シンポジウム2018

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本心理臨床学会	会員	2008年10月
家族問題研究学会	会員	2009年5月
日本福祉心理学会	会員	2016年10月
日本自然保育学会	会員 編集委員	2017年9月
日本幼児教育学会	会員	2017年10月

III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度(西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額(円)
・科学研究費助成事業	2024年	基盤研究B	社会的養護に内在する喪失とそれに伴う悲嘆に対する包括的理解とケアの構築	12,700,000
・全国保育士養成協議会東北ブロック	2023年	個人研究助成	マイノリティ支援としての保育における左きき児の支援法についての検討	100,000
・科学研究費助成事業	2023年	基盤研究C	希望ある里親養育に向けた「未来語りの対話」ケアプログラムの開発	4,290,000

・人間学研究センター	2023年	共同研究助成	大学教育におけるクリティカルシンキング能力の育成に関する調査研究	296,000
・人間発達研究センター	2022年	個人研究助成	自然保育を担う保育者養成校学生への教育プログラムの開発と実践	92,500
・人間発達研究センター	2021年	個人研究助成	幼児期の発達段階における他者との関係性や社会性に関する研究	79,000
・全国保育士養成協議会東北ブロック	2021年	個人研究助成	幼児期の発達過程における『嘘』の位置づけー保育者の認識と関わりの側面からー	100,000
・財団法人前川財団	2020年	家庭・地域教育助成	里親が‘親’になる過程と里父と里母の役割についての質的研究	900,000
・全国保育士養成協議会東北ブロック	2019年	個人研究助成	相談援助における保護者支援とバーンアウト予防-レジリエンスとユーモアスタイルの観点から-	100,000
・科学研究費助成事業	2018年	研究活動スタート支援	児童養護施設で暮らす子どもへのグリーンケアの開発	2,080,000
・財団法人前川財団	2016年	家庭・地域教育助成	地域包括的な異年齢保育の実践による家族機能の代替可能性に関する研究	870,000
・公益財団法人マリア財団	2016年	研究助成	乳幼児療育支援における自治体と民間事業所との連携と協働	300,000

3. 特記事項

【非常勤講師】

- ・福島大学人間発達学類「社会的養護」(2022年4月ー現在)
- ・東北生活文化大学短期大学部「子ども家庭支援論」(2022年10月ー2024年3月)
- ・桜の聖母短期大学「保育の心理学」(2022年10月ー2024年3月)

【学外委員】

- ・全国保育士養成協議会東北ブロック 研究委員(2024年4月ー現在)
- ・宮城県いじめ防止対策調査委員会 委員(2024年4月ー現在)
- ・日本自然保育学会第9回大会実行委員(2024年3月ー現在)
- ・日本自然保育学会 編集委員(2023年4月ー現在)
- ・福島虐待問題研究会 委員(2022年10月ー現在)

- ・(公社)福島県森林・林業・緑化協会 子ども里山教育活動推進検討会 委員(2020年4月 - 2024年3月)
- ・東海心理療法研究会 幹事(2016年4月 - 2024年3月)
- ・アカデミアコンソーシアムふくしま キャリアサポーター制度 WG 委員(2020年4月 - 2021年3月)
- ・福島市 保育士の働きやすい職場づくり事業 委員(2020年4月 - 2021年3月)
- ・日本自然保育学会第5回大会 実行委員(2020年2月 - 2021年2月)
- ・静岡県臨床心理士会 協力委員(2010年4月 - 2016年3月)
- ・静岡県教員採用試験 面接委員(2013年4月 - 2015年3月)

【社会貢献活動】

- ・保育士等キャリアアップ研修講師(2024年4月 - 現在)
- ・IFCA(インターナショナル・フォスターケア・アライアンス) サポートティブアダルト 運営参加・支援(2020年4月 - 現在)
- ・福島県教育委員会緊急時派遣カウンセラー 運営参加・支援(2020年4月 - 2021年3月)
- ・子ども虐待防止オレンジリボン運動実施校 企画・運営参加・支援(2020年4月 - 2021年3月)
- ・福島県「子どもと青年の異世代交流事業」 助言・指導(2020年4月 - 2021年3月)

【学内委員】

- ・入試広報委員会委員・大学広報室長・自己点検・評価委員会委員・人間発達研究センター(研究員)研究活動推進委員・将来構想委員

【資格】

- ・臨床心理士・専門社会調査士・公認心理師・LNTトレーナー

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ ロ コウショウ 氏 名 呂 光暁	職 名 人間学部 子ども教育学科	取得学位 博士(教育学) (大学名) 筑波大学 (取得年月) 2017年3月
--------------------------------	------------------------	---

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
①教育内容・方法の工夫(授業評価を含む)		
マルチメディア機器を活用した授業	2019年4月～	「ハエのいない町(1950)」の映像を視聴させることで、当時における授業活動の実際の様子を通して、初期社会科における問題解決学習に対する受講生の理解を深めた。
アクティブラーニングを取り入れた授業	2019年4月～	典型的な授業実践を学習させた上で、思考力・判断力・表現力・問題解決能力の育成を図る社会科の指導方法を探究させ、実際に学習指導案を作成し、模擬授業に取り組みさせたことで、教育実技の向上を促進した。
成績評価の取り組み	2019年4月～	授業では、毎回「復習課題」を設定し、授業内容に対する理解・感想を書かせた。受講生の日々の成長を含めた学習評価と最終の総括的評価の両者を駆使し、各学生の実態に即した評価を行った。
学習支援の取り組み	2019年4月～ 2019年4月～	「振り返りシート」で、毎回の授業における学生自身の考えを記録させて定期的に振り返らせることで、自ら課題を発見し解決していくような学習意識と習慣を身に付けさせた。 教科教育法の授業では、学習指導案の作成練習と模擬授業の実施を充実させるために、受講生が準備・練習する時間を十分に保障するように、学習指導要領の学びと連動させて、より早い段階からの模擬授業のテーマ決定、授業指導案の作成に着手させることで、より完成度の高い模擬授業の実施を促進した。
②作成した教科書、教材、参考書		
	2021年6月	新・教職課程演習第11巻 初等社会科教育, 第1章「Q4社会科の目標に示された公民としての資質・能力について述べなさい」第7章「Q2地域の生産や販売の仕事と地域の安全を守る働き」の教材研究の視点について述べなさい」
	2024年4月	『社会科教育事典 第3版』第3部第2章「中国の動向」
	2024年4月	『Well-beingをめざす社会科教育 人権/平和/文化多様性/国際理解/環境・まちづくり』第4章3節「中国における国際理解教育の進展と課題」

③教育方法・教育実践に関する発表、講演		
④その他教育活動上特記すべき事項		
なし		

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
著書						
『新・教職課程演習第11巻 初等社会科教育』, 第1章「Q4社会科の目標に示された公民としての資質・能力について述べなさい」 第7章「Q2地域の生産や販売の仕事と地域の安全を守る働きの教材研究の視点について述べなさい」	共著	2021.6	協同出版	唐木清志・永田忠道編著, 呂光暁・他 26名		17~19 149~151
『社会科教育事典 第3版』「中国の動向」	共著	2024.4	ぎょうせい	日本社会科教育学会編, 呂光暁、他 68名		390~391
『Well-being をめざす社会科教育 人権/平和/文化多様性/国際理解/環境・まちづくり』	共著	2024.4	古今書院	井田仁康監修、唐木清志、國分麻里、金玆辰編著、呂光暁、他 24名		203~213
論文						

学習指導要領の変化から見た小学校社会科教育の方向性 —経済学習を中心として—	単著	2019.11	白鷗大学教育学部『白鷗大学教育学部論集』第13巻第2号			115～134
心理志向の経済教育論の展望—経済教育の課題を踏まえて—	単著	2020.5	白鷗大学教育学部『白鷗大学教育学部論集』第14巻第1号			193～218
日本における社会科教育研究の動向(2019年度)	単著	2020.12	日本社会科教育学会『社会科教育研究』第141号			84～95
中国のキリスト教と宗教の必要性について	単著	2021.3	仙台白百合女子大学カトリック研究所『論集』第25号			77～81
経済的思考の特質と育成方法—社会的認知と経済的社会化に着目して—	単著	2021.3	仙台白百合女子大学『仙台白百合女子大学紀要』第25号			33～46
モデルプラン3 職業選択(小学校社会科第3学年・第5学年)	単著	2021.4	日本公民教育学会 2017(平成29)年度～2019(平成31)年度基盤研究(B)『新科目「公共」を核とした公民教育を小中高等学校で効果的に推進するための調査研究研究成果報告書』			1頁
モデルプラン15 金融の働き(小学校社会科第3学年・第5学年)	単著	2021.4	日本公民教育学会 2017(平成29)年度～2019(平成31)年度基盤研究(B)『新科目「公共」を核とした公民教育を小中高等学校で効果的に推進するための調査研究研究成果報告書』			1頁
大学の教職課程におけるICT活用の試み—社会科を中心に—	単著	2022.2	『仙台白百合女子大学教職課程研究センター報』第1号 仙台白百合女子大学教職課程研究センター			39～47
生活科のカリキュラム構造から見た素朴理論の可能性	単著	2023.2	『仙台白百合女子大学教職課程研究センター報』第2号 仙			3～12

			台白百合女子大学教職課程 研究センター			
多様性の尊重を意識した経済学習	共著	2023.3	科学研究費補助金(基盤研究 B)(課題番号:20H01670) 『18歳市民力を育成する社会 科・公民科の系統的・総合的 教育課程編成に関する研究 報告書』			144～145
子どもの社会的な見方・考え方の形成を目指す単 元開発—中学校の経済学習を中心に—	単著	2023.5	白鷗大学教育学部『白鷗大学 教育学部論集』 第17巻第1号			133～153

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数
なし						

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所
学習指導要領の変化から見た小学校社会科教育の方向性—経済学習を中心として—	2019年6月	日本公民教育学会第30回全国研究大会、於九州大学
小学校社会科における経済的思考をどう育成するか—子どもの社会的認知に着目して—	2019年9月	日本社会科教育学会第69回全国研究大会、於新潟大学
子どもの社会認識の形成を目指す単元開発—中学校2年生を対象に—	2021年6月	日本公民教育学会第31回全国研究大会 於大阪教育大学 (zoom参加)

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本社会科教育学会	事務局広報部担当、ダイバーシティ委員会委員	2012年4月
中等社会科教育学会	会員	2012年4月

経済教育学会	会員	2012年4月
日本公民教育学会	理事、学会賞選定委員会	2013年4月
全国社会科教育学会	会員	2015年6月
筑波大学教育学会	会員	2018年2月
日本カリキュラム学会	会員	2018年8月
日本教師教育学会	会員	2018年8月

Ⅲ 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)
日本学術振興会	2019-2021	若手研究・代表	初等中等教育における問題基盤型の金融経済カリキュラムの開発—日中比較を中心に—	4,680,000
日本学術振興会	2023-2027	基盤研究(B)・分担	東アジア的文脈をふまえたグローバル市民教育の教員研修プログラム日中韓共同開発	18,330,000
日本学術振興会	2024-2028	若手研究・代表	経済的思考を育成する教育方法論の開発—素朴理論から科学的理論へ—	4,290,000

3. 特記事項

2015年9月26日	経済教育学会奨励賞受賞
2016年3月17日	筑波大学学長表彰受賞
2016年11月5日	日本社会科教育学会賞(論文部門)受賞
2017年3月24日	筑波大学人間総合科学研究科長賞受賞

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ 氏名	サカバ ヒロコ 坂場 寛子	職名 講師 人間学部 子ども教育学科	取得学位 博士(国際文化) (大学名) 東北大学大学院 (取得年月) 2022年3月
------------	------------------	--------------------------	--

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概要
1. 英語の授業におけるICTの活用	2021.4 - 現在	英語の授業において、Google Classroom, Google Form, QRコード、動画等を活用し、分かりやすさや学習動機づけに配慮した授業を行なっている。授業学生からの評価も良好である。
2. 英語の授業における教材作成	2021.4 - 現在	プレゼンテーション用スライド、ワークシート、インタラクティブ PDF など多種類の教材を自作し、目的に応じて使い分けて英語の授業を実施している。スライドを作成する際は、視覚的に分かりやすいデザインを心がけ、ワークシートを作成する際には、受講学生が自ら考え、アクティブラーニング(ペアワークやグループワークを含め)を促すことを意識している。これらの教材を活用した授業では、受講学生は積極的に授業に参加し課題に取り組んでいる。また、授業学生からの評価も良好である。
3. 「子ども発達総合演習 I, II, III, IV」におけるデザイン教育	2023.4 - 現在	「子ども発達総合演習 I, II, III, IV」(ゼミ)では、「学びのためのデザイン研究」をテーマとし、保育・教育とデザインの関わりや、保育・教育分野におけるデザインの活用の可能性について、文献調査、デザイン制作、ディスカッションなど、学生が主体的に学び考える方法でゼミ活動を行っている。ゼミ生によるレポートやディスカッションの内容から、「デザイン」という新しい視点で物事を観察、考察する力が養われていることがうかがえる。

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数

【学位論文】 1. 高大接続英語教育のための基本動詞 TAKE の研究—コーパス駆動型アプローチ—	単	2019. 3	東北大学大学院国際文化研究科応用言語学専攻修士論文(修士学位論文)			100頁(A4版)
2. 英語基本動詞の実践的用法の視覚化と学習動機づけに関する研究	単	2022. 3	東北大学大学院国際文化研究科応用言語学専攻修士論文(博士学位論文)			132頁(A4版)
【論文】 1 . Usage Patterns and Meanings of High-Frequency English Verbs: A Multi-Word Expression Approach to Japanese High School EFL Textbook Analysis	共	2021. 7	International Journal of Applied Linguistics and English Literature, 10(4)	岡田毅		116-130
2. 教育用インフォグラフィックスの制作ガイドライン構築に向けた基礎的研究—デザイン概念とプロセスに関する分野統合的テキスト分析	単	2021. 11	日本デザイン学会『日本デザイン学研究』第 68 巻, 2 号			59-68
3. 英語基本動詞学習のためのインフォグラフィックス教材 —動機づけモデルにもとづく制作・教育実践・評価—	単	2022. 1	日本英語英文学会『日本英語英文学』第 31 号			47-74
【その他】 1. 英語語彙指導におけるインフォグラフィックスの可能性 —take care of+目的語を例として—	単	2020. 1	大修館書店出版『英語教育』第 68 巻,11 号			66-67

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所
1. 連語表現はどのように構成されるかー英語教育への応用に向けてー	2019. 8	全国英語教育学会第 45 回弘前研究大会、弘前大学 (ポスター発表)
2. 英語話し言葉コーパスにおける基本動詞 TAKE を含む連語表現ー「意味のまとまり」に基づく体系的抽出方法の提案ー	2019. 10	英語コーパス学会第 45 回大会、高知県立大学 (口頭発表)
3. 英語教科書においてどのようにイラストが機能しているか?ー日本の高校英語教科書に着目してー	2020. 2	Thammasat University-Tohoku University-NIDA International Symposium on Japanese Studies 2020 :Harmonization of cultural studies and language studies、タマサート大学(バンコク) (国際シンポジウムにおける口頭発表)

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
英語コーパス学会	会員	2018. 4
大学英語教育学会	会員	2019. 4
全国英語教育学会	会員	2019. 2
日本デザイン学会	会員	2020. 4
日本英語英文学会	会員	2021. 2

III 研究費の助成を受けた研究(過去 5 年間)				
助成機関名	助成を受けた年度(西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額(円)

3. 特記事項

【非常勤講師・講師】 ・宮城教育大学 全学教育「英語」(2021. 4ー 2023. 3) ・宮城教育大学「第二言語習得論」(2022. 7ー 2023. 3)

・特定非営利活動法人 学割 net 運営 まふまふ語学講座 英会話講師 (2011. 8— 2013. 5)

【講演等】

- ・高校英語教師主催の英語学習意見交換会(英語教師学びの会)「基本動詞 TAKE の使用パターン ー連語表現の指導への応用ー」研究発表(2019. 5)
- ・宮城県伊具高等学校 キャリアセミナー 講師(2023. 3)

【学内】

- ・学修支援センター主催の「英会話講座」(リメディアル教育)を担当した(2023 年度)
- ・大学スクールバスのバスラッピングデザインコンテストで応募作品が教職員・学生の投票により選ばれ、新しいスクールバスのデザインを担当した(2023)

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ まつよし しんいち 氏 名 松好 伸一	職 名 講師 人間学部 子ども教育学科	取 得 学 位 教育学修士 (大学名)東北大学大学院 (取得年月) 2017年 3月
-----------------------------	------------------------	---

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
コンパクト版保育者養成シリーズ 新版乳児保育	2018年3月	保育者養成課程「乳児保育(旧カリ)」の教科書
よくわかるシリーズ 乳児保育 I	2020年3月	保育者養成課程「乳児保育 I」の教科書
よくわかるシリーズ 乳児保育 II	2020年3月	保育者養成課程「乳児保育 II」の教科書
よくわかるシリーズ 子ども家庭支援論	2020年3月	保育者養成課程「子ども家庭支援論」の教科書
幼児教育方法論	2022年3月	保育者養成課程「幼児教育方法論」の教科書
子どもの育ちと多様性に向き合う障害児保育	2024年3月	保育者養成課程「障害児保育演習」の教科書

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
「森の幼稚園」が幼児の人間関係に及ぼす影響に関する研究	単著	2017年3月	小田原短期大学研究紀要 47号			pp.230-235
コンパクト版保育者養成シリーズ 新版乳児保育	共著	2018年3月	一藝社	松好伸一 他 14名		pp.113-120
よくわかるシリーズ 乳児保育 I	共著	2020年3月	一藝社	松好伸一 他 15名		PP113-120

よくわかるシリーズ 乳児保育Ⅱ	共著	2020年3月	一藝社	松好伸一他 11名		pp113-120
よくわかるシリーズ 子ども家庭支援論	共著	2020年3月	一藝社	松好伸一他 14名		pp41-48
「森の幼稚園」が領域「健康」において子どもの発達に及ぼす影響に関する研究	単著	2020年3月	専修大学北上福祉教育専門学校研究紀要第5号			pp45-53
「森の幼稚園」が領域「言葉」において子どもの発達に及ぼす影響に関する研究	単著	2020年3月	専修大学北上福祉教育専門学校研究紀要第5号			pp54-62
「森の幼稚園」が領域「環境」において子どもの発達に及ぼす影響に関する研究	共著	2020年3月	専修大学北上福祉教育専門学校研究紀要第5号	渡邊好美		pp63-77 内 pp63- 68,pp76-77
コロナ禍における保育者養成校の在り方について	単著	2021年3月	専修大学北上福祉教育専門学校研究紀要第6号			pp28-47
幼児教育方法論	共著	2022年3月	一藝社	松好伸一他 14名		pp49-56
子どもの形成環境と「森の幼稚園」をめぐる一考察 2 園環境が与える子どもへの影響	単著	2023年3月	専修大学北上福祉教育専門学校研究紀要7号			pp87-99
子どもの育ちと多様性に向き合う障害児保育	共著	2024年3月	みらい	松好伸一他 20名		pp168-177

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所
「森の幼稚園」が子どもの発達に及ぼす影響に関する研究	2017年3月	日本発達心理学会第28回大会
「森の幼稚園」が領域「健康」において子どもの発達に及ぼす影響に関する研究	2018年3月	日本発達心理学会第29回大会
「森の幼稚園」が領域「言葉」において子どもの発達に及ぼす影響に関する研究	2019年3月	日本発達心理学会第30回大会
フォーラム「森の幼稚園」自主シンポジウム 話題提供	2019年3月	日本発達支援り学会第30回大会

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本発達心理学会 日本自然保育学会 日本保育者養成教育学会 日本発達支援学会	監事・広報委員(2023~2期目)	2014年3月 2016年9月 2017年3月 2019年4月

III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度(西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額(円)

3. 特記事項

小田原短期大学通信課程 非常勤講師(保育内容言葉、保育内容環境)((2016年4月~2017年3月)
東京福祉大学通信課程 非常勤講師(幼児教育)(2017年4月~2020年3月)

BTEC 認定チャイルドマインダー講師(仙台ヒューマンアカデミー)(2017年4月から2018年3月)

近畿大学豊岡短期大学通信教育部 非常勤講師(保育内容人間関係、保育内容健康、保育内容環境、乳児保育、乳児保育Ⅱ、健康(指導法)、環境(指導法)、人間関係(指導法)、保育原理、障害児保育、教育実習事前事後指導)(2017年7月～)

石巻専修大学人間学部人間教育学科 特命教授(保育内容人間関係、幼児と人間関係、保育者論、乳児保育Ⅰ、乳児保育Ⅱ)(2018年4月～2022年3月)

岩手県保育士等キャリアアップ研修 幼児期教育(2018年8月)

岩手県保育士等キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援(2018年9月)

盛岡医療福祉専門学校 非常勤講師(2018年7月～継続中)(乳児保育, 障害児保育)

宮城県高齢者活躍人材育成事業 富谷市育児支援講習(2018年9月)

宮城県高齢者活躍人材育成事業 柴田町育児支援講習(2018年10月)

岩手県保育士等キャリアアップ研修 幼児教育(2019年2月)

岩手県保育士等キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援(2019年3月)

宮城学院女子大学 非常勤講師(実習事前指導・巡回指導)(2019年4月～2020年3月)

専修大学北上福祉教育専門学校 非常勤講師(保育内容環境、幼児と環境、乳児保育Ⅱ)(2019年4月～12月)

岩手県保育士等キャリアアップ研修 幼児教育(2019年8月)

岩手県保育士等キャリアアップ研修 乳児保育(2019年9月)

日本発達支援学会 第1回大会 運営委員(2019年10月)

宮城県高齢者活躍人材育成事業 仙台市育児支援講習(2019年11月)

学校法人北上学園 幼保連携型認定こども園アドバイザー(2019年4月～2022年3月)

姫路大学通信教育課程 非常勤講師(教育実習事前事後指導)(2020年4月から2021年3月)

専修大学北上福祉教育専門学校 特別教諭(専任) (保育内容環境、幼児と環境、教育課程・教育方法論、子育て支援)(2020年1月～2022年3月)

日本コミュニケーション障害学会学術大会 事務局 大会委員(2020年5月)

岩手県保育士等キャリアアップ研修(乳児保育)講師(2020年8月)

福島県保育士等キャリアアップ研修(幼児教育)講師(2020年8月)

岩手県北上市公立保育所スーパーバイザー(保育の進め方、新保育所保育指針について)(2020年8月)

福島県子育て支援員研修(南相馬市・会津若松市・白河市) 講師(2020年8月)

保育士等キャリアアップ研修(幼児教育・障害児保育) 講師(2020年10月)

日本発達支援学会 第2回大会 運営委員(2020年10月)

放課後児童支援員認定資格研修(宮城県登米市)(2021年1月)

福島県保育士等キャリアアップ研修(福島市・いわき市)子育て支援・保護者支援, マネジメント 講師(2021年2月・3月)

岩手県保育士等キャリアアップ研修(幼児教育・障害児保育)講師(2021年7月)

認定こども園専修大学北上幼稚園 スーパーバイザー(保育の進め方、子どもへの対応、職員間の連携)(2021年10月から12月)

石巻市子育て支援員研修 講師(2022年6月)

岩手県保育士等キャリアアップ研修(幼児教育) 講師 2022年(7月)

利府おおぞら幼稚園 自己肯定感に関する研究 講話(2022年8月)

岩手県認定こども園 子育て支援 講話(2022年8月～11月計4回)

もりのなかま保育園 泉中央園 サイエンス+ 気になる子の保育について スーパーバイザー(2023年3月)

もりのなかま保育園 泉中央園 サイエンス+ 障害が疑われる子, 気になる子の保育について 講話(2023年4月)

富谷市 とみや子育て支援センター「パパと遊ぼう! 親子ふれあい遊び」講師(2023年7月)

岩手県保育士等キャリアアップ研修 講師(2023年8月子育て支援)

岩手県保育士等キャリアアップ研修 講師(2023年9月 マネジメント, 幼児教育)

岩手県保育士等キャリアアップ研修 講師(2023年10月 子育て支援)

仙台市泉区保健福祉センター 産学協働企画 参画・監修(松好ゼミ)(2023, 10～2024, 3)

専修大学北上福祉教育専門学校 非常勤講師(2022年4月～)

北日本医療福祉専門学校 非常勤講師(2020年4月～)

渡邊採種場・あおば青果による採種, 青果物流に関する企画 参画(プチぷよトマト栽培推進)

盛岡医療福祉スポーツ専門学校 非常勤講師(2018年7月～)

<2024年6月以降>

富谷市子育て支援センター パパと遊ぼう講師(松好ゼミ)(2024年7月)

松陵児童センター おひさま広場参画(松好ゼミ)2024年7月)

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ ッダ アヤコ 氏 名 津田 綾子	職 名 助教 人間学部 子ども教育学科	取得学位 修士 (大学名) 宮城教育大学(取得年月)2022年3月
--------------------------	------------------------	--------------------------------------

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
・授業におけるICTの活用	2022.4 - 現在	UNIPA、Google Form、QRコード、動画等を活用し、ICTを用いた授業を行っている。受講学生からの評価も良好である。
・グループ学習の導入	2022.4 - 現在	担当教員からの一方通行の授業ではなく、学生自身が深く考えることができる機会を作っている。受講学生を数名ごとのグループに分けることで、学生個人の取り組みや課題に対する意識付けの深化につながると考えている。グループ学習の後には、発表の機会を設けることで、学生は積極的に取り組むことができている。
・授業における教材作成	2022.4 - 現在	プレゼンテーション用スライド、ワークシート、PDF など多様な教材を自作し、目的に応じて使い分け授業を実施している。スライドを作成する際は、視覚的に分かりやすいデザインを心がけている。これらの教材を活用した授業では、受講学生は積極的に授業に参加し課題に取り組んでいる。また、受講学生からの評価も良好である。
・模擬保育の実施	2023.4 - 現在	学外実習指導の授業では、保育場を想定した実演を行っている。現場での勤務経験を活かし、どのように保育を作り上げているのか、保育者がどのような配慮をしているのかを受講学生が考えながら模擬保育に参加できるように模擬保育を行っている。模擬保育に参加するだけでなく、学生自身の気づきをグループ学習へ繋げ、受講学生全体に共有することで保育について理解が深まるような授業を行っている。
・リアクションペーパーの活用	2022.4 - 現在	毎回の授業の終わりにミニットペーパーを用いて、学生が授業内容について振り返り要点をまとめる時間を設けている。また感想や疑問については次回の授業内でフィードバックし、他の学生が感じた・考えたことを受講学生全体で共有し、より多角的に授業内容を振り返ることができるよう配慮した授業を行っている。受講学生からの評価も良好である。

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
保育者の専門的資質を育成するためのマルチモーダル分析用情報機器とアプリケーションの活用 —幼児の製作遊びにおける保育者の役割について—	単	2021年3月	宮城教育大学情報活用能力育成機構研究紀要 第1巻			19頁-27頁
幼児の社会的スキルと遊びの夢中度(2) —TEMとSRAを用いた混合研究法—	共	2020年5月	日本保育学会第73回大会集録	郷家史芸 藤田清澄 石田淳也 伊藤恵里子 保木井啓史 津田綾子		論文集 CD-ROM 907頁-908頁
幼児の製作場面における相互作用について —製作過程の幼児の「見る」行為に着目して—	単	2020年5月	日本保育学会第73回大会集録			論文集 CD-ROM 909頁-910頁

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数
学術研究発表						
発表テーマ			発表年月(西暦)	発表場所		
保育者が子どもの心情を理解するプロセス —TEMとNIRSによる混合研究法より—			2023年5月	日本保育学会第76回 熊本学園大学大会 口頭発表		

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本保育学会	会員	2019年8月
日本子ども社会学会	会員	2021年6月
日本乳幼児教育・保育者養成学会	会員	2023年9月
日本乳幼児学会	会員	2024年2月

III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)

3. 特記事項

【非常勤講師】 ・宮城教育大学「保育内容(表現)指導法」(2022.10－)
